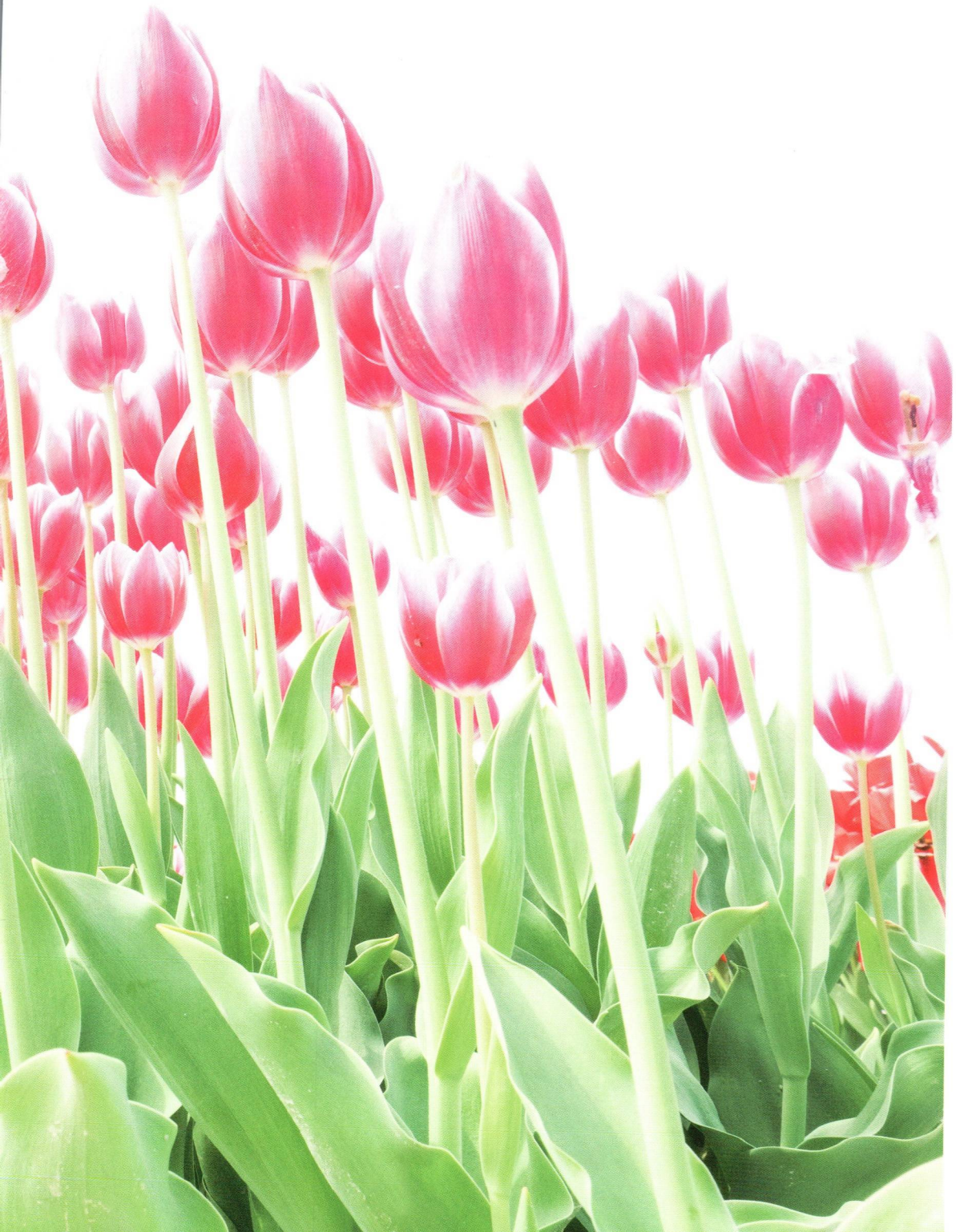


徳島県美術家協会

美術年報

2019



目次

はじめに.....	徳島県美術家協会会長 河崎 良行	1	
平成 29 年度事業報告		3	
平成 30 年度役員名簿		6	
平成 30 年度各部役員名簿		7	
第 26 回放美展記録		12	
第 26 回放美展出品・入選等状況		18	
第 26 回放美展公募規定		19	
第 73 回徳島県美術展記録		20	
第 73 回徳島県美術展出品・入選等状況		28	
第 73 回徳島県美術展公募規定		29	
徳島県美術展審査員一覧.....		30	
徳島県美術展開催運営要項.....		34	
第 14 回徳島県こども美術展出品・入選等状況		38	
第 73 回徳島県展選抜展		40	
平成 30 年各部記録			
・日本画部.....	部会長 岡 英彦	43	
・洋 画 部.....	部会長 平木 美鶴	46	
・写 真 部.....	部会長 上野 照文	53	
・彫 刻 部.....	部会長 松永 勉	56	
・美術工芸部.....	部会長 松下 慶一	60	
・書 道 部.....	部会長 荒井 彭仙	65	
・デザイン部.....	部会長 田中 一郎	71	
徳島県美術家協会規約.....		75	
後援承認事務取扱規定.....		76	
後援名義使用承認申請書様式.....		77	
平成 30 年度会員名簿			
・日本画部.....	80	・美術工芸部	88
・洋 画 部.....	81	・書 道 部	90
・写 真 部.....	85	・デザイン部	100
・彫 刻 部.....	88		

はじめに

徳島県美術家協会会長

河 崎 良 行

今年は、平成最後の正月を迎えることになりましたが、5月から始まる新元号や、元号制度そのものについての論議も盛んに取り沙汰され、歴史の大きな転換期に向かっていきます。

さて、昨年の徳島県美術家協会における諸行事は、皆様のご尽力により総て順調に実施することができました。

第73回徳島県美術展は、10月に県民文化祭開催委員会及び徳島新聞社との共催で開催されました。審査は連年通り県外の作家により行われ、全部門とも、概ね好意的な批評を受けました。特別賞に選ばれた久保守近さんの日本画「光の中に」、板井義典さんの洋画「月夜」、田村栄一郎さんの美術工芸「想」、大西彩音さんの彫刻「時の流れ」は、いずれも秀逸で、写真・書道・デザイン部門においても県展のレベルの高さを占める秀作が多く見られました。特に高校生である大西さんの彫刻は、かなりの経験が求められる領域でもある立体造形の大作であり、審査員からは「全国展や海外に出展しても通用する作品である」との称賛を受けました。

第26回放美展（四国放送と共催）は、5月にあわぎんホールで開催されました。各部門での最高賞である放美賞に日本画部門の坂田七海さん、洋画部門の優秀賞に桑原奈々さんと、いずれも高校生二人が選ばれました。若い人たちの活躍の場をモットーにしている放美展にとって誠に嬉しいことでした。しかし、残念ながら全体の出品数や入場者の数は減少傾向にあり、この状態が今後も続くとしたら、展覧会の開催が危ぶまれる時期が来るのではないかと危惧する意見も出始めています。というのは、県人口が19年連続で減少し、戦後初めて74万人を割り込み、そのペースが落ちる気配は見られません。他の文化団体においても若い人の参加者が減少し、同じ悩みを抱えている現況です。抜本的対策が求められています。11月に近畿高校総合文化祭の徳島大会が開催されて、2府8県の6,500人が参加したとのことを知り、活発な高校生の部活動との連携が取れるような有効な手掛かりは何かないものかと考えさせられました。

第14回徳島県子ども美術展（徳島県民文化祭再開委員会・徳島県美術家協会・徳島新聞社共催）は10月にあわぎんホールで開催され、応募数は絵画・書写合わせて14,275点。審査は厳選となり、入賞、入選、佳作の3,291点が選ばれ充実した展覧会となりました。小・

中学生の絵画・書写作品を一堂にして見る機会是他にはなく、大勢の参加者で賑わいました。絵画の部、第一席の県知事賞・糸田川裕雅君（小一年）の作品は、火災現場をモチーフに画面いっぱいに力強い描写で半抽象的な表現性豊かな作品となっていました。同じく書写の部で県知事賞・逢坂羽瑠菜さん（中一年）の作品は、筆使いが洗練され美しく、文字に品格が備わっていて感心しました。

慶事としては、越由子さん（美協会員・美術工芸）が第10回とくしま芸術文化賞を受賞したことです。工芸作家として県内外、及び国際的な活動、特に2004年にUSAワールドキルト展で受賞する等、その力量が評価されました。7月にあわぎんホールにて代表作による記念展の開催がありましたが、大胆な構成やその色調は現代アートの雰囲気が漂う会場となり、大きな反響を呼んでいました。

同じく慶事として、グラフィックデザイナー四十宮隆志さん（美協会員・デザイン）が2018年度阿波文化創造賞を受賞しました。2006年より、JAGDA日本グラフィックデザイナー協会に参加して研鑽を積み、2016年には徳島地区の代表幹事に就任し、徳島のデザイン振興に貢献しています。2017年には「ラハティ国際ポスタートリエンナーレ」に入選するなど諸外国での活躍が高く評価されての受賞となりました。

10月には、荒井天鶴さんの没後10年に、-孤高の書とその美学-をタイトルとした書道特別展が徳島県立文学書道館で開催されました。戦後、徳島の書壇をリードした書家であり、当協会の理事、副会長、顧問と長年勤められた天鶴さんの功績を偲ぶ意義深い機会となりました。

お知らせになりますが、昨年11月に徳島県健康福祉祭及び全国健康福祉祭開催への協力に対し、公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会理事長・飯泉知事より、美術家協会への感謝状をいただきました。ここにご報告します。

最後になりましたが、当協会の諸行事にあたり、ご支援ご協力いただきました関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

平成31年3月

平成 29 年度事業報告

- (1) 総 会 ◇平成 29 年 5 月 27 日（土）
 ◇あわぎんホール 5F 会議室 6
 ◇平成 28 年度事業報告及び決算報告
 ◇監査報告・承認
 ◇平成 29 年度事業計画及び予算審議
 ◇その他
- (2) 第 25 回放美展
- (3) 第 72 回徳島県美術展
- (4) 第 13 回徳島県こども美術展
- (5) 関係会議 ◇ 4 月 21 日（金）17:30 第 1 回放美展運営委員会 四国放送
 ◇ 5 月 18 日（木）17:30 第 1 回徳島県美術展運営委員会 徳島新聞社
 ◇ 5 月 27 日（土）13:30 美協総会 あわぎんホール
 ◇ 8 月 24 日（木）17:30 第 2 回徳島県美術展運営委員会 徳島新聞社
 ◇ 11 月 1 日（水）17:30 第 3 回徳島県美術展運営委員会 徳島新聞社
 ◇ 12 月 1 日（金）18:30 臨時徳島県美術展運営委員会 徳島新聞社
 ◇ 2 月 9 日（金）17:30 第 4 回徳島県美術展運営委員会 徳島新聞社
 ◇ 3 月 10 日（土）13:30 美協理事会 あわぎんホール
- (6) 各部会行事 ◇写 真 部 写真部撮影会（29.6.18） 近江八幡市
 ◇日 本 画 部 第 58 回新作日本画展（29.6.22 ～ 25） 阿波銀プラザ
 ◇洋 画 部 洋画部・美術講演会（29.7.8） あわぎんホール
- (7) 各種後援 ◎第 18 回ニッコールクラブ徳島支部写真展 (29.4.14 ～ 4.16)
 ◎第 45 回光輪社書作展 (29.4.14 ～ 4.16)
 ◎鳴門水彩美学展 (29.4.15 ～ 4.18)
 ◎第 9 回阿波美術の森 作品展 (29.4.20 ～ 4.25)
 ◎第 35 回徳島平和美術展 (29.5.11 ～ 5.14)
 ◎第 17 回 UNIT-D 写真作品展 (29.5.12 ～ 5.14)
 ◎四十宮 年代展 (29.5.18 ～ 5.22)
 ◎第 47 回直心会書展 (29.5.26 ～ 5.28)

◎徳島アート21 第15回展	(29.6.1～6.4)
◎第40回写真同人「炎」作品展	(29.6.2～6.4)
◎第24回耽の会書作展	(29.6.9～6.11)
◎第40回八紅展	(29.6.15～6.18)
◎第58回新作日本画展	(29.6.22～6.25)
◎第38回東光会徳島支部展	(29.6.23～6.25)
◎写真2人展 「そうめん物語」	(29.6.24～7.4)
◎第76回世代美術展	(29.7.14～7.17)
◎第9回(一社)二科会写真部徳島支部展	(29.7.14～7.18)
◎第13回総合美術展	(29.7.15～7.17)
◎創立第30回記念 長玄書道会展	(29.7.21～7.23)
◎第8回木田写真クラブ「組写真」展	(29.7.21～7.23)
◎徳島青澄 第6回翔和会かな書作展	(29.7.28～7.30)
◎四国大学文学部書道文化学科 第31回教員展	(29.8.4～8.6)
◎第57回写楽会写真展	(29.8.4～8.6)
◎第82回書芸院展 ー開け・ごまー	(29.8.24～8.27)
◎第6回青藍会書作展	(29.8.25～8.27)
◎第12回写真同人「光」写真展	(29.8.25～8.27)
◎第25回三美書研展(三好、美馬書道研究会展)	(29.9.1～9.3)
◎第73回青美展	(29.9.1～9.4)
◎第7回木田英之&写真倶楽部合同展	(29.9.8～9.10)
◎Gruppo foto23 写真展	(29.9.8～9.11)
◎第62回書協人展	(29.9.21～9.23)
◎第21回記念旺美展(旺玄会東四国支部展)	(29.10.4～10.10)
◎第23回徳島障がい者芸術祭エナジー29	(29.10.11～10.15)
◎第39回泉心会書作展	(29.10.13～10.15)
◎第4回写真倶楽部八丁目 写真展	(29.10.14～10.16)
◎AWA現代アート展29 ーお山の芸術祭	(29.10.21～11.5)
◎第32回藍美展	(29.11.3～11.5)
◎第16回一心会書展	(29.11.10～11.12)
◎第13回吉野川市書人会作品展	(29.11.17～11.19)
◎第20回溪生社水墨画小品展	(29.11.17～11.19)
◎第23回六書会展	(29.11.17～11.19)
◎第3回つくしの会展	(29.11.17～11.19)
◎第21回せゝらぎ書展	(29.11.17～11.19)
◎第47回芳藍書道展	(29.11.24～11.26)

◎第 10 回徳島絵画美学展	(29.11.30 ~ 12.3)
◎第 2 回由源書心会展	(29.12.1 ~ 12.3)
◎書道企画展「第 2 回書道創作グランプリ」	(29.12.2 ~ 12.13)
◎第 38 回臨池書展	(29.12.2 ~ 12.3)
◎徳島版画 Tokushima Print Works 29	(29.12.6 ~ 12.10)
◎第 9 回とくしま文化芸術賞受賞記念 鎌田邦宏彫刻展	(29.12.9 ~ 12.12)
◎第 22 回尚真書展	(29.12.15 ~ 12.17)
◎第 46 回歳末チャリティー作品・色紙即売展	(29.12.20 ~ 12.21)
◎土 50 四十宮隆志展	(30.1.5 ~ 1.8)
◎第 50 回モダンアート徳島支部展	(30.1.12 ~ 1.17)
◎第 42 回東玄書道会展	(30.1.19 ~ 1.21)
◎第 23 回悠美展	(30.1.26 ~ 1.28)
◎河野宗之蒸油彩画個展	(30.2.1 ~ 2.25)
◎第 13 回吉野川市・阿波市 二市絵画交流展	(30.2.2 ~ 2.4)
◎第 28 回美術文化徳島支部展	(30.2.8 ~ 2.11)
◎第 43 回四国大学書道文化学科卒業制作展	(30.2.9 ~ 2.12)
◎徳島県美術家協会 美術工芸部 会員作品展	(30.3.1 ~ 3.4)
◎平成 29 年度徳島大学書道部・OB 会書作展	(30.3.2 ~ 3.4)
◎沢口 功 ポスター展 30	(30.3.5 ~ 3.25)
◎第 38 回書研社展	(30.3.9 ~ 3.11)
◎第 32 回正鋒会書展	(30.3.9 ~ 3.11)
◎第十五回五果会書道展	(30.3.15 ~ 3.18)
◎第 49 回ナルトぴんぼけクラブ写真展	(30.3.16 ~ 3.18)
◎第 51 回書道研究 清潮書作展	(30.3.16 ~ 3.18)
◎第 2 回徳島玄心会書展	(30.3.30 ~ 4.1)

平成 30 年度 役員名簿

会 長	河 崎 良 行	理 事	竹 田 和 代
副会長	松 下 雄 介	〃	薄 田 玲 泉
〃	西 野 和 男	〃	能 仁 華 瑤
事務局長	松 永 勉	〃	田 中 一 郎
理 事	岡 英 彦	〃	福 井 章
〃	長 谷 壽	〃	坂 本 三千一
〃	土 井 洋 子	〃	沢 口 功
〃	土 方 るみ子	監 事	佐 藤 隆
〃	平 木 美 鶴		森 住 博
〃	黒 崎 志 郎	顧 問	長 尾 弘 子
〃	露 口 敏 幸	〃	櫛 渕 魏
〃	田 中 シゲミ		
〃	西 川 周 三		
〃	上 野 照 文		
〃	橋 本 圭 祐		
〃	井 藤 光 章		
〃	林 敏 彦		
〃	増 田 寿		
〃	松 永 勉		
〃	鎌 田 邦 宏		
〃	井 下 俊 作		
〃	上 月 佳 代		
〃	松 下 慶 一		
〃	森 賢 一		
〃	橘 惠		
〃	森 明 治		
〃	荒 井 彭 仙		
〃	隅 田 英 二		

平成 30 年度 各部役員名簿

日本画部

部会長	岡 英 彦
委 員	長 尾 弘 子
"	西 野 和 男
"	長 谷 壽
"	土 井 洋 子
"	土 方 るみ子
"	柳 田 一 子
"	坂 容 子
監 事	中 西 芳 雄
"	日 浦 猛 史
事務局員	日 浦 猛 史
"	柳 田 一 子

洋画部

部会長	平 木 美 鶴
委 員	榎 田 務
"	黒 崎 志 郎
"	露 口 敏 幸
"	長 尾 弘 久
"	玉 田 秀 子
"	田 中 シゲミ
"	西 川 周 三
"	伊 勢 浩 章
"	嵯 峨 潤 三
"	鈴 木 啓 子
"	島 上 二 郎
"	近 藤 克 子
"	二 條 均
"	遠 藤 誠 一
"	手 塚 てる子
監 事	田 中 シゲミ
"	伊 勢 浩 章
事務局員	西 川 周 三
"	田 中 シゲミ

写真部

部会長	上野照文
委員	櫛渕魏
"	橋本圭祐
"	井藤光章
"	林敏彦
"	増田寿
"	田村泰弘
"	伊達照子
"	大和健司
"	森住博
"	川眞田慶治
"	堀口幸男
"	野藤みきよ
"	梅本貞範
"	岩崎英昭
"	平野史子
"	賀川泰広
"	船越正文
"	大津勝治
"	武地雅行
"	土橋成一
"	野口佳司
"	三木理司
"	森内昭男
"	田中伸廣
"	井上憲治
"	阿部啓三
"	福田勉之
"	吉田隆之
監事	田村泰弘
"	森住博
事務局員	井上憲治
"	阿部啓三

彫刻部

部会長	松永勉
委員	佐藤隆
"	井下俊作
"	鎌田邦宏
"	居上真人
"	武田亜希子
"	東光司
監事	上月佳代
"	武田亜希子
事務局員	松永勉
"	木村大志

美術工芸部

部会長	松 下 慶 一
委 員	山 上 馨
"	七 條 猪三郎
"	矢 野 款 一
"	多智花 佐代子
"	森 賢 一
"	橘 惠
"	犬 伏 絢
"	斎 藤 和 彦
"	森 明 治
"	藤 井 哲 信
"	田 村 栄一郎
監 事	大 貝 貞 雄
"	松 本 宏
事務局員	森 明 治
"	藤 井 哲 信

書道部

部会長	荒 井 彭 仙
委 員	青 木 東 原
"	赤 川 景 舟
"	朝 三 皐 如
"	東 南 光
"	阿 部 博 子
"	和 泉 和 舟
"	伊 丹 東 龍
"	井 上 虹 雨
"	岩 本 志 豪
"	上 田 輝 芳
"	上 野 益 泉
"	内 田 麻 紀
"	大 下 江 波
"	大 西 清 葩
"	岡 崎 啓 香
"	沖 田 唐 谷
"	折 野 幸 峰
"	折 野 佳 子
"	加 村 喜美子
"	亀 石 文 苑
"	川 上 虹 泉
"	河 野 静 江
"	河 野 真 流
"	河 野 多 美
"	川 端 康 清
"	川 村 春 琴
"	岸 緑 香
"	日 下 溪 翠
"	倉 本 景 雨
"	幸 田 清 尚

委 員	芝 原 醒 鶴
"	清 水 桂 月
"	下 村 清 子
"	春 藤 大 耿
"	鈴 江 美 音子
"	鈴 木 恵 理
"	薄 田 玲 泉
"	隅 田 英 二
"	高 瀬 大 峯
"	高 田 青 蓮
"	高 柳 早 秀
"	高 田 上 洋 香
"	武 市 鳴 雲
"	竹 田 和 代
"	武 田 玲 香
"	多 田 清 芳
"	玉 城 乾 香
"	玉 城 乾 舞
"	富 久 鳴 泉
"	中 尾 勝 子
"	中 谷 史 子
"	長 原 皐 月
"	長 原 皐 聖
"	永 松 春 苑
"	中 村 春 岳
"	仁 木 志 香
"	西 谷 香 峰
"	能 仁 華 瑤
"	花 本 清 香
"	浜 佳 香
"	林 桂 翠
"	林 美 雪

委 員	平 岡 幽 琴
"	弘 田 長 風
"	福 永 美 泉
"	藤 村 柳 葉
"	藤 原 育 代
"	松 永 翠 月
"	丸 岡 春 暁
"	丸 田 恵 風
"	三 宅 葉 子
"	三 浦 富 美代
"	南 溪 石
"	美 馬 幾 美賀
"	宮 井 青 雨
"	宮 守 崇 流
"	向 井 京 子
"	森 光 翔
"	森 本 成 玉
"	八 木 藍 玉
"	山 口 華 城
"	山 口 幽 徑
"	山 本 景 琴
"	吉 田 翠 彩
監 事	日 下 溪 翠
"	林 桂 翠
事務局員	長 原 皐 月
"	林 美 雪

デザイン部

部会長	田 中 一 郎
委 員	坂 本 三千一
〃	福 井 章
〃	沢 口 功
〃	敷 島 のり子
〃	吉 本 實
〃	北 島 豊 嗣
〃	四十宮 隆 志
〃	西 林 良 枝
〃	斎 藤 剛
監 事	山 内 典 子
〃	天 羽 宏 美
事務局員	吉 本 實
〃	四十宮 隆 志

第 26 回放美展記録

会 期 平成 30 年 5 月 2 日（水）～ 6 日（日）

時 間 10：00～17：00（入場は 16：30 まで）

会 場 あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

日本画

[審 査 員]	土方るみ子	中西 芳雄	柳田 一子		
[無 鑑 査]	富永 博子	西岡 ちほ			
[放 美 賞]	坂田 七海				
[優 秀 賞]	木原 典子				
[四国大学賞]	谷崎 和広				
[入 選]	水田 貴子	井上美恵子	田上 史枝	新居麻里子	三ツ本繁美
	中川 正志	城田 佳子	久保 守近	山本 敏子	鈴木 恵子
	大久保楨宙	仁木蒼一郎	廣瀬 彩奈	藤原 真美	植田 忠生

洋 画

[審 査 員]	露口 敏幸	西川 周三	鈴木 敬子		
[無 鑑 査]	杉本 祥子	小笠原秋子			
[放 美 賞]	藤本 誠子				
[優 秀 賞]	大坪潤一郎	西條 敏夫	山口 明美	北村 照子	伊勢谷昭博
	栞原 奈々				
[四国大学賞]	中矢 千尋				
[入 選]	眞鍋たえ子	新藤佐代子	武田 洋子	谷 慎也	杉村 良典
	賀川紀美子	高橋 幸二	馬淵 博子	大場 孝一	林 静代
	前川フキ子	林 敏雄	長尾賀代子	小川 美輝	前野 亮治
	遠藤公美子	森本 操	多田美千代	宮内 一子	林 茂子

竹原 良亮	井関久美子	為実美恵子	田中千恵子	石山 彰子
篠原 稔	坂東 悦子	坂野 友明	白草 由子	和田 寿子
小倉満智子	堀田 豊子	米田和希子	大内 稔夫	中内あい子
湯浅まなみ	村川 千代	麻植 哲司	阿部 昌子	米沢 博
大久保佐智子	天野 利明	福本 恵	岩井 春美	米田 一貴
工藤 桂子	大原万佑佳	安友三恵子	黒島 貞子	田中 敏雄
野上 恵子	戸根由祐子	佐阪 優月	枋谷日菜子	西村茉莉杏
富田 百香	横井嘉世恵	谷 夏実	篠原 彩香	横畠 寛
井添 弘美	野々瀬綺華	魚住 環風	鈴木 麗子	ノダミドリ
姫田 正義	原田はるか	齋 里菜	金城 悠海	柴田 優希
谷口 克子	谷崎 愛菜	山形 大青	吉田 葉月	岡崎 恵
埴渕 照二				

写 真

[審 査 員]	橋本 圭祐	井藤 光章	岩崎 英昭		
[無 鑑 査]	野藤みきよ	川西 明雄	大西 啓子	多田 進	島 廣幸
	熊谷美智子	福井 純子	高橋 一恵		
[放 美 賞]	山根 茂美				
[優 秀 賞]	住友 登	井上 義信	岡田 政子	佐竹 清	野村 和夫
	山田 喜吉	辺見 博子	団 芳男	鈴江久美子	野藤 敏美
	大澤 典子				
[四国大学賞]	戸井 咲良				
[入 選]	幾田 茂仁	増田 実 ⁽³⁾	住友 登	井上 義信	森住 孝義
	上野 博子	戸井 咲良	新居滉太郎	板東よしお ⁽³⁾	板東美智代
	藍野 茂樹	岡田 政子	喜多 昌弘 ⁽²⁾	佐竹 清	野村 和夫 ⁽²⁾
	田村 清憲	河野 悟子 ⁽²⁾	泉 清美 ⁽²⁾	谷 嘉明 ⁽²⁾	長岡 和美 ⁽²⁾
	山田 喜吉	水口 ゆみ ⁽²⁾	原田 愛 ⁽²⁾	武田 幸代 ⁽²⁾	三谷美津子 ⁽²⁾
	辺見 博子	福井 邦博 ⁽²⁾	塩江 優 ⁽²⁾	庄野 里美 ⁽²⁾	山上 道子 ⁽²⁾

山上 堯 ⁽²⁾	板東 泰雄 ⁽²⁾	加藤 郁代	加藤 敬二	河野 俊文
団 芳男 ⁽²⁾	笠井 房子	井口 洋明	鈴江久美子	古岡 友子
松家 安信	吉田 隆之 ⁽²⁾	郡 英明 ⁽²⁾	柏原 史郎	大川悠理子
稲岡 武 ⁽³⁾	久保 朋也 ⁽²⁾	野田 賢 ⁽²⁾	安丸 弘二	竹内 一雅
今出 弘 ⁽²⁾	おどみ岐諷	江口美恵子	岸田 義市	中野みどり ⁽²⁾
鈴江 純史	野藤 敏美 ⁽²⁾	信田 幸一	佐藤美智子 ⁽²⁾	山根 茂美
秋山 修一 ⁽²⁾	富岡佳代子	廣野美知子 ⁽²⁾	南 敦子 ⁽²⁾	山口 正明
林 好一 ⁽³⁾	二階 博司	姫野 博司 ⁽²⁾	庄野 和博	紅露 隆 ⁽³⁾
中山 洋三	高曾根信義 ⁽²⁾	坂本 恵子 ⁽²⁾	森山 節子	山下 修司 ⁽²⁾
高木 信昭	岡本 満幸	宇治 秀壽	賀川 泰廣 ⁽²⁾	喜多 省三
桑原 明伸	三木 啓司	富加見美枝	鈴木 雅則 ⁽²⁾	圓藤由貴子
谷 ひづる	大澤 典子 ⁽²⁾	大島 茂信		

彫 刻

[審査員] 井下 俊作 居上 真人 武田亜希子

[無鑑査] 大貝 寿子

[放美賞] 吉田 陽子

[優秀賞] 鈴江空里子

[四国大学賞] 美馬健太郎

[入 選]	川西 徳男	西野 克彦	中川 正和	家形笑美子	猪井 賢二
	大貝 貞雄	森 克江	中原 美波	安岡 采美	栗林 優衣
	黒田あすか	井関 美希	楮山穂乃佳	横畠 寛	野々瀬綺華
	笠井 彩香	長谷川 優	北條 弘登	富田 朱音	

美術工芸

[審査員] 森 賢一 森 明治 藤井 哲信

[無鑑査]	大貝 貞雄	大貝 寿子	松本 宏	原田 明實		
[放美賞]	毛利 貴子					
[優秀賞]	前野 亮治	松島 典子	久保 英樹	松永 卓司		
[四国大学賞]	川口 那菜					
[入選]	吉田 和子	阿部 能則 ⁽²⁾	上田 優	渡辺 正明	高島 悦江	
	小林 清重	三好 鈴花	小西 恋衣	遠藤 梨央	青木 壽美 ⁽²⁾	
	上久保佳子	八木由利子	八木 智江	石井 春夫	平瀬 進也	
	石川 眞一	山地 啓子	東條 容子	岩坂 久美	温水 浩 ^(代表)	
	陶久 敏郎	遠藤 勇	遠藤 好子 ⁽²⁾	篠原 安雄	清原 眞弓	
	丸井 明	原田 明子	田村 公子	手塚 健一 ⁽²⁾	平尾 静子 ⁽²⁾	
	近藤 一男	久保 英樹	板東 啓子	吉野 由紀	中西 達也	
	美馬 吉彦	黒川 佳代	泉 恵子	近藤佐起江	高瀬 裕司	
	眞鍋 謙弘	下内 良一	長尾 敏子 ⁽²⁾	井上 英子	佐藤 毎紀	
	横井嘉世恵	中川 澄男	家形笑美子	井内久美子	尾藤 芳尚	
	武田 潤子	四宮 千代	大内 敏男	北町 裕子	大草 幸子	
	西内 貞二	宮本 薫	松永 卓司	藤中 教代	増田 満	
	巽 安子	向 紫	村川 榮一	前川 政秀	埴渕 照二	

書道

[審査員]	伊丹 東龍	中尾 勝子	荒井 彭仙			
[無鑑査]	春川 登	石川 翔子	田村 元帥			
[放美賞]	川又 晃容					
[優秀賞]	寺澤 歩花	佐渡 梢花	香川百々花	西川 実希	田中 篁心	
	谷内 青蒼	町田 哲子	荒井 遥風	林 歩花		
[四国大学賞]	内田 志乃					
[入選]	深藪 美雪	益岡 輝実	吉本 智恵	山本 莉子	齋藤 青空	
	喜瀬 夢叶	神野友夏子	岡田 樹	逢坂優妃奈	藤本 りさ	
	沼江 美帆	近藤 優菜	芦和 晴佳	丸岡 真弓	斎藤 節子	

笹井 優衣	宮城 乃菜	湯浅 琴美	谷本 藍泉	佐竹 夏実
丸本 可乃	満村 泰子	西 朱理	手塚 浩美	辻 和楓
佐藤 香乃	青木 実穂	吉岡 春鵬	四宮 花奈	池内 愛美
清水 芳雲	三浦 仁実	川原 真菜	糀 真理子	松下 莉子
三好 優莉	関口 佳那	平尾 未来	秋成 怜美	垂水 柚奈
北村 佳子	松村 就子	小林 青藤	竹田千鶴子	斎藤須美代
藤崎 友子	畠山 花鮮	岸本 廣江	稲山 由佳	清水 青翠
谷内 花聲	前田 珠里	並木 桃果	磯 真衣香	酒井 都羽
宮北 朔良	中田 葉月	馬詰絵莉花	北野 静香	近藤 碧泉
千葉 美波	山口 香奈	瀬山 花郷	伊藤ひかる	賛田美恵子
久住 律子	喜多美千代	中村 絢子	廣瀬 蕙花	三原 瑞洲
田中 すず	井内 美佑	由利 里子	山本 恵子	伊藤 秀子
梯 瑚子	高島 夏花	友廣 京佳	井上 裕稀	森 葉音
木内 理紗	作道 泉美	東條 祐真	中田 幸希	近藤 晴香
齋藤 茉白	中野 妃萌	谷本 香扇	村田 苔石	今治 宏美
川下 芳婉	川端 康清	児玉 幸子	坂尾 竟成	中西 之桐
森本 成玉	大石 康正	幸田 清尚	高瀬 大峯	正見 千恵
原田 理絵	小野 宙成			

デザイン

[審査員]	福井 章	吉本 實	坂野美恵子	
[無鑑査]	田村 あい			
[放美賞]	西尾 歩未			
[優秀賞]	栗飯原 稜	鍋島美都妃	山野井宏宗	田中見那美
[四国大学賞]	青木 菜那			
[入選]	田中 公代	住田 結衣	かまくらまい	高井 奈穂 ⁽²⁾ 塩崎 智絵
	松浦 ころ	長濱 綾花	中西 絢樹	坂賀 泉美 相原 佑香
	中野 果梨	小倉 知恵	大久保玲風	田中 乃愛 高田 愛侑 ⁽²⁾

橋場 怜央 ⁽²⁾	齊藤 理菜	浪花 虹 ⁽³⁾	山本 歩惟 ⁽²⁾	小村 智美
仁宇 未歩	林 敏雄	三木梨々花	福井 桃菜	下横 美琴
南 絵里佳	住友 月美	酒井麻優子	岩崎 翔星	月岡 瑠乃
上田 月花	藤原 有希	河見 優希	北島 弥紅	梶本あゆみ
重松 莉帆	佐野 仁美	辻 あみ	金城 悠海	今井 千愛
熊野世璃菜	安田 愛梨	堀江 紗弥	七條 菜摘	河野 真奈
山崎 百絵	後藤 敦紀	井原 千優	泉 絢名	山下 茉凜
刘 美洋	勝野 竜駿	佐賀みこと		

第 26 回放美展出品・入選等状況

区分 \ 部門		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		25	145	285	29	110	224	103	921
出 品 者 数		25	134	118	26	81	188	92	664
入 賞 ・ 入 選	放 美 賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優 秀 賞	1	6	11	1	4	9	4	36
	四国大学賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	入 選 数	15	76	133	19	71	102	59	475
	計	18	84	146	22	77	113	65	525
	入 選 率	72.0	57.9	51.2	75.9	70.0	50.4	63.1	62.9
選 外	落 選 数	7	61	139	7	33	111	38	396
	落 選 率	28.0	42.1	48.8	24.1	30.0	49.6	36.9	37.1
無 審 査 出 品	審 査 員	3	3	3	3	3	3	2	20
	無 鑑 査	2	2	8	1	3	3	0	19
	計	5	5	11	4	6	6	2	39
展 示 数		23	89	157	26	83	119	67	564

第 26 回放美展公募規定

部門 区分	日本画	洋 画	写 真	彫 刻
書類受付期限	平成 30 年 4 月 14 日（土）			
搬 入 日	平成 30 年 4 月 29 日（日）			
搬入場所	あわぎんホール（県郷土文化会館）3 階展示室			
審 査 日	平成 30 年 4 月 29 日（日）			
審 査 員	土方るみ子 中西 芳雄 柳田 一子	露口 敏幸 西川 周三 鈴木 敬子	橋本 圭祐 井藤 光章 岩崎 英昭	井下 俊作 居上 真人 武田亜希子
出 品 料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生は 1 点 1,000 円			
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内			
入 賞	・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・四国大学賞 各部門 1 点（高校生・高専生（全学年）の入選作品から選出）			

部門 区分	美術工芸	書 道	デザイン
書類受付期限	平成 30 年 4 月 14 日（土）		
搬 入 日	平成 30 年 4 月 29 日（日）		
搬入場所	あわぎんホール（県郷土文化会館）3 階展示室		
審 査 日	平成 30 年 4 月 29 日（日）		
審 査 員	森 賢一 森 明治 藤井 哲信	伊丹 東龍 中尾 勝子 荒井 彭仙	福井 章 吉本 實 坂野美恵子
出 品 料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生は 1 点 1,000 円		
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内		
入 賞	・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・四国大学賞 各部門 1 点（高校生・高専生（全学年）の入選作品から選出）		

- 注 1) 入選数は出品点数に応じでの規定数とする
 2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること
 3) 所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担（梱包料金を含む）で返送する

第 73 回徳島県美術展記録

会 期 第 1 期 平成 30 年 10 月 5 日 (金) ～ 10 日 (水) 日本画・洋画・彫刻
 第 2 期 平成 30 年 10 月 12 日 (金) ～ 17 日 (水) 写真・美術工芸・デザイン
 第 3 期 平成 30 年 10 月 19 日 (金) ～ 24 日 (水) 書道
 時 間 9:30 ～ 17:00
 会 場 あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

日本画

[審 査 員] 西久松吉雄
 [特別出品] 西野 和男 岡 英彦
 [招 待] 土方るみ子 土井 洋子 中西 芳雄 日浦 猛史 柳田 一子
 反田 卓 坂 容子
 [無 監 査] 平野 真里 石原 千鶴
 [賛助出品] 長谷 壽
 [特 選] 久保 守近 (徳島新聞社長賞)
 梶浦 千瑞
 [準 特 選] 吉村 敬子 秋月ヒサヨ 清水佳代子
 [奨 励 賞] 前川 静花 宮越 千佳 水田 貴子
 [入 選] 大黒 規子 仁木蒼一郎 大久保慎宙 中川 正志 岩木 寿美
 富永 博子 大塚さや香 井上 弘子 澤 真弓 新居左よ子
 谷 尚武 森本 秀代 鍋島治世子 川真田哲雄 後藤田 実
 植田 忠生

洋 画

[審 査 員] 室越 健美
 [特別出品] 榊田 務 平木 美鶴
 [招 待] 清水 亟懃 露口 敏幸 長尾 弘久 西川 周三 玉田 秀子
 [賛助出品] 黒崎 志郎 松川 寛 中辻奈美枝
 [特 選] 板井 義典 (四国放送社長賞)
 大坪潤一郎 佐阪 優月
 [準 特 選] 林 敏雄 二條 均 姫田 正義 浅井 清司 阿部 昌子
 麻植 哲司

[奨励賞]	川上 晴美	林 静代	岩井 千晴	伊勢谷昭博	土橋 正子
[入選]	広瀬 直	新居麻里子	岸本 花子	粟飯原満子	前川フキ子
	大津 憲文	竹原 良亮	石山 彰子	坂東 悦子	住友 洋士
	谷 慎也	和田 寿子	賀川紀美子	田村 秀子	横畠 寛
	加川由紀子	藤井 香世	富田 百香	杉本 祥子	宮田 京子
	一森 星南	枋谷日菜子	久保 和子	坂東沙也加	小泉たか子
	島田 純江	岩佐 孝男	志摩 政照	佐々木公子	真柴 保男
	富岡 晴恵	笹田 義宏	笠原 春稀	徳永 敬子	三木田真由美
	手塚 充子	伊勢 浩章	田浦 佳江	松本 勇夫	小笠原秋子
	犬伏美智子	大南 芳子	遠藤 誠一	佐藤 嘉子	瀬川 政子
	小川 美輝	米田あゆみ	鈴木 敬子	内田 満	近清 哲夫
	藤本 誠子	川口 均	萩原 典子	前野 亮治	永野 耕一
	鹿山 公弘	西川 敬子	後藤 和子	天野 功治	田中 敏雄
	福良 哲子	藤本 千秋	手塚てる子	嵯峨 潤三	佐藤 敬子
	吉岡 毅	岩井 春美	谷口 克子	徳元 丈士	島津 千尋
	早内 陽子	中村 恵一	浅野 近男	藏本百合子	野口 暁子
	平山 倫子	田中千恵子	小浜 敏也	井本 良明	青木 幸子
	富士原卓弘	上田 幸子	天野 利明	嶋田 雅子	田村 幸子
	加賀谷愛美	宮本 典子	野田みどり	坂東 富恵	河本多恵子
	河野 博匡	三谷ミヤ子	吉岡 厚子	坂野 友明	川中比沙子
	平本 美緒	小倉満智子	杉村 良典	小笠 正明	村上 初江
	米田恵美子	押栗 洋子	大家 敏宏	西條 敏夫	長坂 芳子
	日野 邦恵	染田 節子	黒島 貞子	岡村 清	藤本真佐子
	林 伸也	宮内 一子	工藤 桂子	遠藤公美子	東原 綺子
	中内あい子	大久保佐智子	大場 孝一	前川 富子	馬淵 尚子
	武田 洋子	石幸 忠雄	山田あけみ	藤井 博之	眞野 尚枝
	大平 妙子	美馬 潤子	田中 康子	答島 和年	花菱 良一
	北村 照子	小倉健太朗	大西 文代	高橋 幸二	中筋奈津子
	赤木 秀明	西崎 志帆			

写真

[審査員]	大石 芳野				
[特別出品]	櫛渕 魏	上野 照文			
[招待]	木田 英之	勝西 雅夫	三好 和義	森 賢一	橋本 圭祐

	前浦 芳久	林 敏彦	井藤 光章	増田 寿	柳本 正
	大和 健司	船越 正文	堀淵 完治	岩崎 英昭	久保 英樹
	堀口 幸男	森住 博			
[特 選]	宮本 幸治	(県美術家協会会長賞)			
	大森 孝克	小原 英児	川真田慶治		
[準 特 選]	国見 良幸	阿部 啓三	須原 仁志	熊谷美智子	平野 史子
	林 好一	泉 清美	富岡佳代子	大林 義治	
[奨 励 賞]	棚橋 仁志	大島 茂信	橋本 博美	姫野 博司	廣野美知子
	武澤 一成	秋山 修一	高橋 一恵		
[入 選]	三好 輝美	宮本 幸治	多川 静守	増田 実 ⁽³⁾	大津 勝治 ⁽³⁾
	高曾根信義	瀧花 性善	梅本 貞範	平澤 澄子	野藤みきよ
	吉田 圭作	木内 正大	阿部 啓三 ⁽²⁾	須原 仁志 ⁽²⁾	小原 英児
	近藤 博之 ⁽²⁾	石本 隆二	笹尾 正夫	稲井 建司	城田 清志
	幾田 茂仁 ⁽³⁾	三谷美津子	森 光	岡本 早苗 ⁽⁴⁾	藤村千津子
	埴淵 節子 ⁽²⁾	吉村 敏嗣	板東 泰雄	川西 明雄 ⁽²⁾	田中 伸廣
	大島 茂信	紅露 隆	野口 道子	谷 賢太郎	平野 史子 ⁽⁴⁾
	谷 嘉明 ⁽³⁾	二階 博司	野田 賢	秋田 召旨	山田 卓
	林 好一 ⁽²⁾	水口 義行 ⁽³⁾	山上 道子 ⁽²⁾	鈴江 純史 ⁽²⁾	野村 和夫
	遠藤 博敏	大塚 尚	福井 純子	板東よしお ⁽²⁾	福井 邦博 ⁽²⁾
	石川 徹雄 ⁽²⁾	古字 智子 ⁽²⁾	山下 修司 ⁽²⁾	武田 幸代 ⁽²⁾	鍋島治世子
	藤本 祐二	武田 吉市 ⁽³⁾	堤 信寿	山根 茂美	大和 章人
	長岡 和美 ⁽²⁾	加藤 郁代 ⁽²⁾	中野みどり	姫野 博司 ⁽²⁾	賀川 泰廣 ⁽²⁾
	塩江 優	宮前 稔	大野 光祥	宇治 秀壽	武澤 一成 ⁽²⁾
	森平 重利 ⁽²⁾	柏原 史郎	杉本 昌弘 ⁽²⁾	おどみ岐諷 ⁽²⁾	竹内 一雅
	佐野 和史 ⁽²⁾	福原 敏雄	池田 啓子	鈴木 雅則	秋山 修一
	櫛渕 紳哉	井上 憲治 ⁽²⁾	高橋 一恵	田村 泰弘	

彫 刻

[審 査 員]	井田 勝己				
[特別出品]	河崎 良行	佐藤 隆	松永 勉		
[招 待]	井下 俊作	鎌田 邦宏	居上 真人	上月 佳代	武田亜希子
[無 監 査]	木村 大志				
[賛助出品]	長岡 強				
[特 選]	大西 彩音	(徳島県知事賞)			

[準 特 選]	大貝 寿子	青木 陽子				
[奨 励 賞]	東 光司	鈴江空里子				
[入 選]	吉田 陽子	横島 寛	安岡 采美	中原 美波	西野 克彦	
	高丸 公相	トリス・フリンク	四宮 達司	小林 正則	筒井 豊	
	二宮 治夫	近藤 美暁				

美術工芸

[審 査 員]	島田 文雄					
[特別出品]	七條猪三郎	松下 雄介	松下 慶一			
[招 待]	立智花佐代子	森 賢一	橘 恵	犬伏 絢	斎藤 和彦	
	森 明治	藤井 哲信				
[賛助出品]	中川 存	矢野 款一				
[特 選]	田村栄一郎 (県議会議長賞)					
	四十宮年代					
[準 特 選]	吉田 陽子	穴山千代子	尾藤 芳尚	楠 博子		
[奨 励 賞]	丸居 哲雄	河野美和子	久保 英樹			
[入 選]	中西 達也	高瀬 裕司	長尾 敏子	高橋 輝美	平田志保子	
	手塚 健一	三宅 真衣	藤中 教代	高橋 正昭	板東 啓子	
	宮本 薫	篠原 安雄	遠藤 勇	遠藤 好子	西澤 淳子	
	横井嘉世恵	山地 啓子	大貝 寿子	近藤美佐子	山本 仁恵	
	秦 信子	大井川良江	上田 優	平尾 静子	川島 千鶴	
	元井 真紀	喜多 岩夫	渡辺 正明	阿部 能則	富永 裕子	
	中山 愛子	宮本 真弓	家形笑美子	大内 敏男	下内 良一	
	梅山 博司	大貝 貞雄	西内 貞二	小林 鳳美	小笠原久美子	
	丸井 明	橋本 正子	越 由子	松原 敦子	森 克江	
	石井 春夫	仁田 和子	小橋美知子	河野 美枝	清原 眞弓	
	平瀬 進也	柴 純代	中川 澄男	泉 良子	出口 清治	
	長尾賀代子	池渕 節子	松本 宏	吉野 由紀	武田 潤子	
	近藤佐起江	鳥井 明子	細川ひとみ	前野 亮治	青木 壽美	
	石川 眞一	田岡久美子	山本 由実	石口 明美	松永 卓司	
	向 紫	眞鍋 謙弘	松島 典子	田村 進	金澤 博子	
	佐治 孝	杉原 悦子				

書道

[審査員]	伊藤 一翔	岡田 直樹	川之上南岳			
[特別出品]	荒井 彭仙					
[招待]	清水 桂月	中谷 史子	川上 虹泉	日下 溪翠	竹田 和代	
	山口 華城	藤若 美風	武市 鳴雲	中尾 勝子	富久 鳴泉	
	永松 春苑	島田 小園	坂本 霄風	浜 佳香	隅田 英二	
	多田 清芳	玉城 乾香	薄田 玲泉	能仁 華瑤	高田 青蓮	
	三浦富美代	宇山 泰鳳	亀石 文苑	岩本 志豪	林 桂翠	
	山口 幽径	米澤 東籬	戸出 芳泉	平岡 幽琴	宮守 崇流	
	詫間 勝陽	向井 京子				
[無鑑査]	川村 春琴	上田 輝芳	阿部 博子	吉田 和婉	河野 真流	
[遺作]	春藤 大耿	長原 皋聖				
[特選]	田村富士子 (徳島県教育長賞)					
	後藤真里奈	野口 有香	辻 尚子	田村 元帥	根木屋和代	
	富永美知子	高瀬 善郎				
[準特選]	谷 弘美	林 みゆき	吉田 幸代	谷本 洋子	井内 久子	
	河野多美子	八木 澄江	松本由希子	豊岡真由美	吉田 裕美	
	伊藤 秀子	武田 淳子	村田 泰輝	義富 博正		
[奨励賞]	山中 佳子	田上 洋子	見世亜紀子	清水 宏子	井野めぐみ	
	竹内やす子	住友 裕子	板東 杏樹	町田 哲子	小野 幸久	
	木田 史子	佐藤 恵子	大胡恵里香			
[入選]						
漢字の部						
	土井 和也	谷 令子	丸岡 由美	中村 美子	山口 幸子	
	吉田 鈴子	牧野ヨシミ	河野久美子	籙 品子	吉平 順子	
	木村 礼子	石井 瞳	澤本 鈴美	河野 永子	山内希与子	
	東條 裕子	斎藤 裕子	郡 秋江	久米 利典	林 幸子	
	川村友紀恵	熊代 厚子	沖田 章代	仁木 輝実	尾形三千代	
	矢部 知子	松浦 幸江	西岡田さつき	阿部 千明	近藤 美香	
	佐々 京子	青木 博美	大塚 洋子	七條 郁子	楠本 俊枝	
	安友 彰子	後藤 紀代	河見 忠信	吉村 敬子	河野 由紀	
	長井あゆみ	鎌谷 幸代	矢部 育実	丸岡 真弓	山城美三子	
	守田 禎子	松島 勝美	中西 淑子	大西 英徳	片山 芳明	
	小倉 知子	杉本 妙子	四宮 恭子	奥田 文子	西改 俊子	
	四宮 仁美	村部 幸子	折野 茂幸	中川恵美子	柳本 真弓	

上野 益代	宮本 暁美	陶久 房枝	大野シゲ子	久積富美子
岡本美津代	三崎美佐代	大下 富江	中西 克之	井上 公子
三好 恵子	鈴木エリ子	山下弥栄子	柏尾美恵子	新見 辰馬
春藤 真紀	日野出夏穂	稲井 知子	馬居美智恵	小西 泰子
岡部ひとみ	森本 晃奈	恵 美恵子	島 智子	伊達三智子
竹内 陽子	一宮 明美	高橋 信子	荒井 和子	瀬山奈緒美
田中 利子	磯川 味佳	松岡 順子	多田みどり	野村佳余子
安丸 順子	岩本 義浩	大東 静代	竹内 綾菜	市原マサ子
忠津 安子	佐藤 美和	小林 忠志	谷内 裕貴	由宇 典代
畠山ゆかり	寺田 美穂	南 知枝	伊達 知美	石川 翔子
近藤 紀子	山本 淹子	松永 浩子	香川百々花	上田美千代
北村 浩子	豊浦 佳子	花本ふくみ	三谷 展子	小笠 英文
木内 文子	先山 明美	盛 知子	坂田 貴子	森口 月美
泉川真理子	稲山 由佳	斎藤須美代	平田 真紀	福家 佳余
谷本真由美	西川 実希	金川 裕子	手塚 浩美	深薮 美雪
森本真由美	浅川 陽子	横田 典子	藤永 真里	斎藤 節子
田中 玲子	坂東加奈子	巽 由紀	四宮 千春	板東 亜美
市原 美希	檜原 知義	田中 育子	田中 偉嗣	園尾 淑子
金田 誠	池内 愛美	真鍋 花菜	西 朱理	田中つぐみ
井元 京子	阿部 和彦	後藤田美智恵	妹尾 寛子	三好 元子
岡田 好花				

篆刻の部

田渕 勲	横田 雅夫	射場 博子	奥谷キクヨ	松村 史子
仁木恵美子	小林 義治	島田 麻由	田村 憲正	宮脇 郷子

仮名の部

吉岡 三枝	内田美代子	島田 利枝	佐藤 佳子	平田 晶子
稲井由加里	大久保雅子	寒田 祐奈	長尾 美希	林 英子
糀 真理子	久積希実子	尾田 知恵	森 眞美	有持恵美子
和泉かず子	今津 英子	内田 麻紀	笠原小夜子	日下壽美子
齋藤 弥生	坂本 恵美	篠賀 知代	菖蒲 和代	高木美賀子
土佐 朱美	中川 年代	畠山 政子	平尾 卓美	三好 育子
山橋不二子	脇坂 優	加村喜美子	田岡佐記子	三宅 葉子
古谷 和代	井上小百合	井上 彰夫	遠藤 由子	谷本 浩子
廣瀬 久代	竹中 敏恵	高橋加奈子	背川 章子	原口 栄子
野木 友美	福村喜代子	稲江 司子	森 裕美子	一ツ松真弓
沖野 道代	石橋 幸恵	仁井 和美	山蔭 和代	檜原 知義

黒田 恵子	佐野 久美	倉本 節子	山本 美幸	井上 まり
吉田 純	赤川久美子	佐川 公子	寺尾 俊通	向井 境子
近藤真千子	喜多美千代	関根 史子	芳田 知子	中筋 良江
山本 愛美	折野 佳子	杉本 裕子	賛田美恵子	山本 恵子
藤原 育代	伊月 愛子	鈴江美音子	中谷つや子	出口末喜子
瀧倉 理恵	向 美喜子	宮内 礼子	松下 智子	

近代詩文の部

若林 節子	和田 悦代	和田富美子	朝三 和子	生野 久美
今治 宏美	居和城幸代	岩崎 麻美	遠藤玻都恵	大西 英子
大石 正	大西千鶴子	岡崎 啓子	檜山 正代	川下小夜子
川端喜美子	川又 敏香	岸 緑	金城 泰子	栗林 和江
栗山 弘子	幸田 康代	児玉 幸子	坂尾 俊一	清水美津子
高橋 三紀	高橋美知江	武市 絢子	竹川 秀穂	谷本富美世
玉城 安和	玉城 豪	玉城 若菜	田村 知恵	長尾由美子
長原 七与	仁木シモエ	野田 満代	春川 登	日野美佐子
藤本 優子	藤原 一子	正見 千恵	丸岡 良子	丸田 三恵
向井 通子	森 繁子	森岡嗣雅子	森本知世子	森本 陽子
真鍋千代子				

前衛の部

阿部 公恵	長崎 香	大胡 真美	前川わかな	川村 佳世
林 由美	林 歩花	友廣 京佳	木内 理紗	作道 泉美
東條 祐真	中田 幸希	齋藤 茉白	中野 妃萌	大西 英徳
永井 厚子	梶川 佳奈	大坂 昌代	中川 博雅	中川 富量
佐藤由紀代	島尾 明良	川原 裕梨	大久保 怜	

デザイン

[審査員]	川上 佳代			
[特別出品]	福井 章	田中 一郎		
[招待]	斎藤 繁次	坂野美恵子	敷島のり子	斎藤 剛
[無鑑査]	沢口 功	斎藤志津子		四十宮隆志
[特選]	栗飯原 稜 (徳島市長賞)			
	佐藤あすか			
[準特選]	田中見那美	信田 幸一	田中 公代	
[奨励賞]	松永 拓也	廣常 源	岸淵真菜実	

[入	選]	栗飯原早希	小村 智美	吉村 敏嗣	林 敏雄	熊谷美智子
		佐野 仁美	谷崎こころ	重松 莉帆	斎藤 信子	山野井宏宗
		高井 奈穂	松島 早紀	井村 圭穂	信田 幸一	廣常 源
		小倉 知恵	田中 乃愛	大久保玲風	橋場 怜央	相原 佑香
		半田 成葉 ⁽²⁾	中西 絢樹	坂賀 泉美	高田 愛侑	浪花 虹
		齊藤 理菜	中野 果梨	南 絵里佳	岡田 典子 ⁽²⁾	堀川めぐみ

第 73 回徳島県美術展出品・入選等状況

区分 \ 部門		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		39	247	662	28	144	746	66	1,932
出 品 者 数		38	203	191	25	96	439	46	1,038
入 賞 ・ 入 選	特 別 賞	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(7)
	特 選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	6	9	2	4	14	3	41
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入 選 数	16	137	126	12	77	330	32	730
	計	24	151	147	17	86	365	40	830
	入 選 率	61.5	61.1	22.2	60.7	59.7	48.5	60.6	43.0
選 外	落 選 数	15	96	515	11	58	416	26	1,102
無 審 査 出 品	特別出品	2	2	2	3	3	1	2	15
	招 待	7	5	18	5	7	36	5	83
	無 鑑 査	2	0	0	1	0	6	2	11
	賛助出品	1	3	0	1	2	1	0	8
	遺作出品	0	0	0	0	0	2	0	2
計		12	10	20	10	12	46	9	119
展示数		36	161	167	27	98	411	49	949

第 73 回徳島県美術展公募規定

部門 区分	日本画	洋 画	写 真	彫 刻
搬入日	9月23日(日)	9月22日(土)	9月30日(日)を10月8日(月)に変更	9月23日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室			
審査日	9月23日(日)	9月23日(日)	9月30日(日)を10月8日(月)に変更	9月23日(日)
審査員	西久松吉雄	室越 健美	大石 芳野	井田 勝己
出品料	協会員1点目3,500円 その他の方4,500円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円			
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない 最小が額縁の幅を除いた画面の縦横の長さが70.0センチメートル×47.0センチメートル以上で、最大が額縁の幅を含めた縦横の一边の長さが190.0センチメートル以内 堅牢なるパネル等を使用の上、額装とする パネル等の裏面には吊り紐をつけること パネルや画面が額より出ないこと アクリル・ガラス等で画面上を覆わないこと 注) 徳島県美術展日本画出品規定における額装の額とは、作品正面から見て一边の額幅が1.0センチメートル以上の木材又は金属で作られた外枠をいう 20号〜60号までとする S型は30号までを上限とし、版画は10号以上とする アクリル、ガラス等で画面上を覆わないこと (ただし、水彩画、版画はアクリルに限って認める) 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 単写真、組写真とも半切およびA3から全倍サイズ 画面の長辺は40cm以上90cm以内 スクエアサイズ(正方形)は一边が30cm以上50cm以内 組写真は1パネル(90cm×180cm以内)に全作品を固定 作品は必ずパネル貼りし、額装はしないこと (ガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取り不可) 高さ2×幅1.82×奥行1.5以内、重量200kg以内 (上記サイズを超える作品は屋外展示とする) 材料等は自由、展示可能な作品に限ります			
入賞	特選 2点 特別賞 1点 準特選 3点 奨励賞 3点	特選 3点 特別賞 1点 準特選 6点 奨励賞 5点	特選 4点 特別賞 1点 準特選 9点 奨励賞 8点	特選 1点 特別賞 1点 準特選 2点 奨励賞 2点

部門 区分	美術工芸	書 道	デザイン
搬入日	9月23日(日)	9月28日(金)	9月30日(日)を10月8日(月)に変更
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室		
審査日	9月23日(日)	9月29日(土)	9月30日(日)を10月8日(月)に変更
審査員	島田 文雄	伊藤 一翔・岡田 直樹・井之上南岳	川上 佳代
出品料	協会員1点目3,500円 その他の方4,500円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない ・立体作品は、50cm立方換算以内(たて×よこ×おくゆきが125,000立方cm以内)とする 但し、たて100cm・よこ100cm・おくゆき100cm以内とする ・平面作品は、150cm平方換算以内(たて×よこが22,500平方cm以内)とする 但し、たて180cm・よこ150cm以内とする 木、竹、金工、陶磁、漆、染色、織物、人形、ガラス等とし、展示できる用具を必ずつけることとする 半切又は全紙1/2以上、仕上がり面積1.47㎡(16平方尺)以内で縦・横自由 卷子・帖は40㍍×300㍍以内 篆刻は印影とし、タテ39㍍×ヨコ30㍍以内の額装に限る (例) 61㍍(2尺)×242㍍(8尺) 枠張りに限る 79㍍(2.6尺)×181㍍(6尺) " " 91㍍(3尺)×161㍍(5.3尺) " " 121㍍(4尺)×121㍍(4尺) " " 半切・全紙1/2・連落まで額装アクリル入りでもよい 無鑑査以上の出品者は半切・全紙1/2以内、横幅90㍍以内とする 次の部門に属する作品とする ①漢字(臨書不可)・篆刻(模刻不可) ②仮名(臨書不可) ③近代詩文書 ④前衛(文字を表現したもの) それぞれ釈文をつけることとする B1サイズ(728×1,030³㍍)で厚さ5〜75³㍍、外枠(幅20³㍍以内)を含めた重さが5kg以内とする グラフィックデザインとし、原画の材質は問わないが、ガラス額装は不可 実在の商品名、会社名等は不可とし、著作権・肖像権に触れないこと 吊り紐をつけることとする		
入賞	特選 2点 特別賞 1点 準特選 4点 奨励賞 3点	特選 8点 特別賞 1点 準特選 14点 奨励賞 13点	特選 2点 特別賞 1点 準特選 3点 奨励賞 3点

徳島県美術展審査員一覧

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46 回まで彫塑)
1		委 員	野 間 仁 根 冨 永 三 郎	委 員	
2		大 栗 旌 仟	野 間 仁 根	上 田 備 山	太 坂 田 東 三 郎 美
3		委 員	伊 原 宇三郎	同 上	太 坂 田 東 三 郎 鹿 内 芳 洲
4		委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5		上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	太 坂 田 東 三 郎 美
6		西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7		山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8		池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	太 坂 田 東 三 郎 美
9		水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10		管 桶 彦	鈴 野 信太郎 木 仁 根	同 上	同 上
11		奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12		浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13		小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	辻 東 豊 美 坂
14		秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15		奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16		同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17		松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18		矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周三郎
19		中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20		曲 子 光 雄	桂 ユキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21		沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22		堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23		松 岡 政 信	山 下 大五郎	同 上	井 上 武 吉
24		山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄
25		奥 村 厚 一	斉 藤 真 成	同 上	原 武 典
26		梶 喜 一	島 村 三七雄	同 上	掛 井 五 郎
27		上 原 卓	高 田 誠	伊 藤 知 己	松 村 外次郎
28		黒 光 茂 樹	中 間 冊 夫	岩 宮 武 二	小 畠 広 志
29		松 岡 政 信	島 田 章 三	同 上	保 田 春 彦
30		黒 光 茂 樹	田 中 岑	岩 宮 武 二	篠 崎 明 雄
31		河 合 健 二	田 中 忠 雄	同 上	江 口 週
32		長谷川 青 澄	山 口 長 男	岩 宮 武 二 岩 宮 武 二 岩 宮 武 二	一 色 邦 彦
33		松 岡 政 信	吉 井 忠	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
34		山 岸 純	小 西 保 文	岩 宮 武 二	清 水 九兵衛
35		樋 笠 数 慶	荻 太 郎	同 上	桜 井 祐 一
36		坂 口 麻沙子	吉 井 淳 二	岩 宮 武 二	土 谷 武

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
鬼塚 信之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭 山 南 木 ・ 織 田 子 青	
同 上	手 島 右 卿	
鬼塚 信之 新 藤 太郎	同 上	
鬼塚 信之	小 坂 奇 石	
明 石 朴 景	辻 本 史 邑	
会 田 裕 宣	織 田 子 青 (漢) ・ 出 口 草 露 (仮)	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近 藤 悠 三	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 後 藤 田 香 石 田 中 天 鶴 ・ 後 藤 中 栢 翠 富 永 眉 峰	
平 松 宏 春	同 上	
同 上	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 後 藤 田 香 石 荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 中 栢 翠 富 永 眉 峰	
大 西 忠 夫	同 上	
明 石 朴 景	同 上	
平 松 宏 明	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平 松 宏 春	同 上	
内 田 邦 夫	同 上	
山 脇 洋 二	同 上	
槻 尾 宗 一	同 上	
山 脇 洋 二	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 田 中 栢 翠 富 永 眉 峰	
藤 本 能 道	同 上	
三 井 安 蘇 夫	同 上	金 野 弘
六 角 穎 雄	同 上	大 智 浩
鈴 木 貫 爾	同 上	早 川 良 雄
田 村 耕 一	同 上	原 弘
山 脇 洋 二	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 田 中 双 鶴 田 中 栢 翠 富 永 眉 峰	田 中 一 光
浅 野 陽	同 上	奥 野 秀 雄
前 田 泰 次	同 上	灘 本 唯 人
山 脇 洋 二	同 上	大 高 猛
中 村 光 哉	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 久 保 幽 香 ・ 讃 岐 泰 泉 ・ 田 中 双 鶴 田 中 栢 翠 富 永 眉 峰 新 居 藍 州	福 田 繁 雄
山 脇 洋 二	同 上	永 井 一 正
田 村 耕 一	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 田 中 閻 双 鶴 ・ 田 中 栢 翠 富 永 眉 峰 西	山 城 隆 一

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46 回まで彫刻)
37		下 田 義 寛	野見山 暁 治	同 上	山 本 正 道
38		同 上	須 田 寿	高 田 誠 三	清 水 九兵衛
39		同 上	斉 藤 真 一	同 上	城 田 孝一郎
40		下 保 昭	津 高 和 一	岩 富 武 三	清 水 良 治
41		橋 田 二 朗	小松崎 邦 雄	奈良原 一 高	淀 井 敏 夫
42		松 本 哲 男	国 領 經 郎	岩 宮 武 二	木 津 一 夫
43		山 岸 純	利根山 光 人	三 木 淳	橋 本 省
44		平 川 敏 夫	赤 穴 宏	高 田 誠 三	山 崎 猛
45		福 井 爽 人	桜 井 寛	三 木 淳	土 谷 武
46		岩 沢 重 夫	大 森 朔 衛	同 上	峯 田 敏 郎
47		穂 田 一 稗	谷 本 重 義	立 木 義 浩	小 島 弘
48		田 淵 俊 夫	大 沼 映 夫	杵 島 隆	建 畠 覚 造
49		中 路 融 人	馬 越 陽 子	同 上	綿 引 道 郎
50		下 田 義 寛	三 栖 右 嗣	奈良原 一 高	古 島 実
51		工 藤 甲 人	中 根 寛	斉 藤 康 一	恩 田 静 子
52		那波多目 功一	松 樹 路 人	細 江 英 公	石 井 厚 生
53		那 須 勝 哉	藤 田 吉 香	高 田 誠 三	香 浦 有 爾
54		内 田 あぐり	奥 谷 博	同 上	小 林 陸一郎
55		松 尾 敏 男	佐々木 豊	大 石 芳 野	日 原 公 大
56		山 崎 隆 夫	大 津 英 敏	同 上	石 黒 鏘 二
57		岩 本 和 夫	山 本 貞	細 江 英 公	原 武 典
58		大 矢 紀	福 島 瑞 穂	江 成 常 夫	菅 原 二 郎
59		竹 内 浩 一	中 山 忠 彦	大 石 芳 野	米 林 雄 一
60		小 嶋 悠 司	絹 谷 幸 二	江 成 常 夫	北 郷 悟
61		宮 廻 正 明	山 本 文 彦	同 上	鈴 木 久 雄
62		能 島 和 明	島 田 鮎 子	英 伸 三	中 垣 克 久
63		雲丹亀 利 彦	桜 井 寛	田 沼 武 能	林 武 史
64		西 田 俊 英	塗 師 祥一郎	同 上	津 田 裕 子
65		岡 村 倫 行	金 山 佳 子	三 好 和 義	建 畠 朔 弥
66		宮 いくき	大 津 英 敏	江 成 常 夫	深 井 隆
67		小 山 硬	笠 井 誠 一	大 石 芳 野	湯 村 光
68		土 屋 禮 一	佐 藤 泰 生	大 石 芳 野	保田井 智 之
69		上 村 淳 之	池 田 清 明	織 作 峰 子	村 井 進 吾
70		中 島 千 波	堀 研	江 成 常 夫	三 沢 厚 彦
71		中 野 嘉 之	久 野 和 洋	三 好 和 義	木 戸 修
72		村 岡 貴美男	森 本 勇	大 西 みつぐ	國 安 孝 昌
73		西久松 吉 雄	室 越 健 美	大 石 芳 野	井 田 勝 己

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
田 村 耕 一	荒 井 天 鶴・田 中 栢 翠 富 永 眉 峰・西 岡 双 鶴・田 中 栢 翠	粟 津 潔
山 下 恒 雄	荒 井 天 鶴・田 中 栢 翠 富 永 眉 峰・田 中 双 鶴・田 中 栢 翠	田 中 一 光
同 上	同 上	長 友 啓 典
浅 野 陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿・高原清泉 田中双鶴・田中栢翠・長江清幽・新居藍州・西岡楚峰	亀 倉 雄 策
中 村 光 哉	明 石 春 浦・坪 井 正 庵	伊 藤 憲 治
浅 野 陽	桜 井 琴 風・黒 野 清 宇	サイトウ・マコト
山 下 恒 雄	大 岡 皓 崖・山 田 伍 雲・西 野 象 山	佐 藤 晃 一
三 浦 小平二	花 田 峰 堂・小 山 素 洞・東 地 滄 厓	河 北 秀 也
松 永 勲	浅 見 綿 龍・森 本 妙 子・加 藤 大 碩	松 永 真
山 下 恒 雄	近 藤 摂 南・東 山 一 郎・中 野 北 溟	浅 葉 克 己
島 田 文 雄	谷 村 熹 齋・植 村 和 堂・太 田 義 久	勝 井 三 雄
大 西 長 利	安 原 皐 雲・池 田 桂 鳳・金 子 卓 義	五十嵐 威 暢
山 下 恒 雄	鈴 木 桐 華・西 本 支 星・金 子 聰 松	青 葉 益 輝
島 田 文 雄	尾 崎 邑 鵬・井 茂 圭 洞・大 井 錦 亭	松 永 真
中 井 貞 次	栗 原 蘆 水・榎 倉 香 邨・種 谷 扇 舟	安 西 水 丸
栗 木 達 介	甫 田 鷄 川・小 山 やす子・石 飛 博 光	U. G. サトー
宮 田 亮 平	杭 迫 柏 樹・藤 木 正 次・吉 田 成 堂	早 川 良 雄
松 永 勲	津 金 孝 邦・池 田 桂 鳳・松 永 暘 石	戸 田 正 寿
竹 内 順 一	田 中 節 山・村 上 俄 山・黒 田 玄 夏	杉 浦 康 平
栗 木 達 介	宮 崎 葵 充・赤 江 華 城・金 子 卓 義	秋 山 孝
中 井 貞 次	星 弘 道・宮 重 小 蘭・西 野 象 山	遠 藤 享
島 田 文 雄	吉 川 蕉 仙・清 水 透 石・作 田 英 嗣	中 村 誠
竹 内 順 一	岩 井 韻 亭・光 宗 道 子・大 井 錦 亭	小 島 良 平
宮 田 亮 平	伊 藤 天 游・井 茂 圭 洞・田 岡 正 堂	永 井 一 正
島 田 文 雄	稲 垣 菰 圃・横 山 煌 平・船 本 芳 雲	新 島 実
増 村 紀一郎	樽 本 樹 邨・東 山 一 郎・辻 元 大 雲	三 木 健
石 川 充 宏	真 神 巍 堂・前 島 泉 洲・長谷川 牧 風	松 井 桂 三
竹 内 順 一	鈴 木 春 朝・山 本 高 邨・砂 本 杏 花	河 北 秀 也
山 下 了 是	大河内 仙 嶽・師 田 久 子・飯 高 和 子	勝 井 三 雄
大 樋 年 朗	土 井 汲 泉・舟 尾 圭 碩・百 瀬 大 蕪	佐 藤 晃 一
宮 田 亮 平	西 村 自 耕・岩 永 栖 邨・西 野 象 山	新 村 則 人
豊 福 誠	今 村 桂 山・横 山 煌 平・森 本 龍 石	福 島 治
若 山 裕 昭	渡 部 清・田 頭 一 舟・鈴 木 まつ子	秋 山 孝
山 下 義 人	鬼 頭 墨 峻・吉 川 美恵子・小 竹 石 雲	伊 藤 豊 嗣
中 井 貞 次	西 嶋 慎 一・山 根 互 清・渡 部 會 山	松 下 計
若 山 裕 昭	新 井 光 風・村 上 俄 山・室 井 玄 聳	杉 崎 真之助
島 田 文 雄	伊 藤 一 翔・岡 田 直 樹・井之上 南 岳	川 上 佳 代

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」で構成する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から2名の合計20名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社3名の計4名で構成する。事務局の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。
7. その他県展開催の下準備に関すること。

第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、審査員及び各部の会長。
- (2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得たもの。

（注）① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

- ② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。

第7条（審査）

審査は公開により行う。

第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

区 分	特 選	特別賞（特選の中から1点）	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	徳 島 新 聞 社 長 賞	3	3 以内	規定数
洋 画	3	四 国 放 送 社 長 賞	6	5 "	"
写 真	4	徳 島 県 美 術 家 協 会 長 賞	9	8 "	"
彫 刻	1	徳 島 県 知 事 賞	2	2 "	"
美術工芸	2	徳 島 県 議 会 議 長 賞	4	3 "	"
書 道	8	徳島県教育委員会教育長賞	14	13 "	"
デザイン	2	徳 島 市 長 賞	3	3 "	"

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

2. 入賞は1部門1人1賞とする。

第9条（表 彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、賞金
2. 準特選……賞状、賞金
3. 奨励賞……賞状、記念品
4. 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1名
2. 徳島県議会議長賞 1名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1名
4. 徳島市長賞 1名
5. 徳島新聞社長賞 1名
6. 四国放送社長賞 1名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料
3. 図録売り上げ代金及び広告料
4. 各種補助金

5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年 12 月に決算を行い、運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第 11 条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1 点目 3,500 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
2. 一般の方の出品料は、1 点目 4,500 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
3. 高校生の出品料は、1 点目 2,500 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
4. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は 1 点 3,500 円とする。

第 12 条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 600 円 | 当日 800 円 |
| 2. 高 校 生 | | 当日 300 円 |

第 13 条（附 則）

本要項の規定は昭和 61 年 9 月から実施する。

本要項の改訂、修正は運営委員の 3 分の 2 以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成 4 年 2 月 22 日	一部改正
平成 4 年 5 月 16 日	一部改正
平成 8 年 5 月 25 日	一部改正
平成 11 年 5 月 14 日	一部改正
平成 13 年 5 月 30 日	一部改正
平成 14 年 9 月 25 日	一部改正
平成 17 年 6 月 14 日	一部改正
平成 18 年 4 月 11 日	一部改正
平成 23 年 2 月 20 日	一部改正
平成 24 年 2 月 24 日	一部改正
平成 25 年 8 月 20 日	一部改正
平成 26 年 8 月 6 日	一部改正
平成 30 年 5 月 26 日	一部改正

第14回徳島県こども美術展



第 14 回徳島県こども美術展出品・入選等状況

会 期 10月12日(金)～10月16日(火)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

入場者数 大人 2,018人 こども 1,003人 計 3,021人

出品・入選等状況

【絵画部門】

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品							
		作品数 総数(特別支援)	特選 (特別賞を含む)	準特選	優秀賞	入選	入賞入選 合計	入選率 (%)	佳作	作品数 総数(特別支援)	特別賞	優秀賞	入選	入賞入選 合計	入選率 (%)	佳作	
小 学 生	1年	501(4)	2	2	34	45	83	16.57	40	286(1)	1	17	38	56	19.58	40	
	2年	482(2)	2	2	19	28	51	10.58	37	320(2)	1	17	24	42	13.13	48	
	3年	447(2)	2	2	28	33	65	14.54	38	254(2)	1	20	32	53	20.87	32	
	4年	386(2)	2	2	27	41	72	18.65	25	197(1)	1	11	22	34	17.26	33	
	5年	325(1)	2	2	21	25	50	15.38	38	170(0)	1	13	23	37	21.76	24	
	6年	320(3)	2	2	14	28	46	14.38	31	127(0)	1	6	11	18	14.17	21	
中 学 生	1年	323(1)	2	2	15	18	37	11.46	25	48(6)	1	6	7	14	29.17	12	
	2年	344(1)	2	2	8	28	40	11.63	28	50(12)	1	3	4	8	16.00	9	
	3年	87(2)	2	2	18	30	52	59.77	12	24(11)	1	2	2	5	20.83	10	
計		3,215(18)	18	18	184	276	496	15.43	274	1,476(35)	9	95	163	267	18.09	229	

【書写部門】

種 別		一 般 展 出 品							特 別 企 画 展 出 品							
学 年	作品数	特選 (特別賞を含む)	準特選	優秀賞	入選	入賞入選 合計	入選率 (%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	入賞入選 合計	入選率 (%)	佳作	
	総数(特別支援)								総数(特別支援)							
小 学 生	1年	391(1)	2	2	11	27	42	10.74	38	299(0)	1	10	21	32	10.70	28
	2年	598(1)	2	2	17	40	61	10.20	59	578(0)	1	19	41	61	10.55	57
	3年	919(1)	2	2	27	63	94	10.23	91	1,010(0)	1	33	70	104	10.30	87
	4年	703(1)	2	2	21	48	73	10.38	60	682(0)	1	22	47	70	10.26	67
	5年	735(0)	2	2	22	51	77	10.48	72	705(1)	1	23	49	73	10.35	70
	6年	675(0)	2	2	20	47	71	10.52	67	727(0)	1	22	51	74	10.18	71
中 学 生	1年	272(1)	2	2	9	19	32	11.76	24	393(1)	1	13	27	41	10.43	39
	2年	242(1)	2	2	8	17	29	11.98	24	233(0)	1	8	15	24	10.30	23
	3年	219(3)	2	2	7	15	26	11.87	22	203(0)	1	7	14	22	10.84	20
計		4,754(9)	18	18	142	327	505	10.62	457	4,830(2)	9	157	335	501	10.37	462

※県南巡回展(阿南市) 11月 3日(土)4日(日)

※県西巡回展(美馬市) 11月23日(金・祝)～25日(日)

※あわおどり会館 12月 5日(水)～16日(日)

第 73 回徳島県展選抜展

会 期 平成 30 年 10 月 27 日（土）～ 11 月 4 日（日）

ところ 吉野川市文化研修センター 多目的ホール

主催：NPO 法人吉野川市文化協会

協賛：徳島県美術家協会

協力：徳島新聞社



オープニングセレモニー テープカット

第73回徳島県展選抜展 展示会場風景



出品数

- 日本画 12 点
- 洋画 23 点
- 彫刻 6 点
- 写真 24 点
- 美術工芸 19 点
- 書道 59 点
- デザイン 8 点

各部記録



日 本 画 部

部 会 長 岡 英彦

年間展望

◎第 26 回放美展（5月2日～6日 あわぎんホール）

応募点数は 25 点で、意欲的な作品が多かった。その中から入選 15 点、入賞 3 点、計 18 点を選んだ。審査は 3 名の審査員の投票制で行い、賞については、審査員の合議により選出した。放美賞の坂田七海さん「安らげる時」は夕暮れの光に照らされた丘の情景と、遠くに見える海を一つの構図にまとめた。小さな草花の上に横たわるヤギを、温かな表情で描き、見る側の心を癒してくれる。優秀賞の木原典子さん「赤い花の協奏曲」はアマリリスの花がバランスよく配置され、色彩も美しい。四国大学賞の谷崎和弘さん「帰り道」は、若さを感じさせる作品だ。惜しくも選に漏れた作品の中にも作者の主張を感じさせるものが多かった。次回は新しいうねりを感じさせる作品がさらに数多く出品されることを期待したい。ギャラリートークでは、70 名あまりの聴講者があり、受賞者と入選者に作品説明をしてもらい、審査員 2 名（土方、中西）がそれぞれの作品について解説した。

審査員（土方るみ子・中西芳雄・柳田一子）



放美展 日本画部ギャラリートーク

◎第 73 回徳島県美術展（10月5日～10日 あわぎんホール）

今回の審査は、創画会会員の西久松吉雄先生にお願いした。応募点数は 39 点で、その中から特別賞（徳島新聞社長賞）1、特選 1、準特選 3、奨励賞 3 を含む入選 24 点を選んだ。西久松先生には厳正に審査していただいた後、講評では、紙の扱い方や岩絵具の表現技法についてのお話があった。

また、特選、準特選などの作品に関する審査評は次のようなものであった。

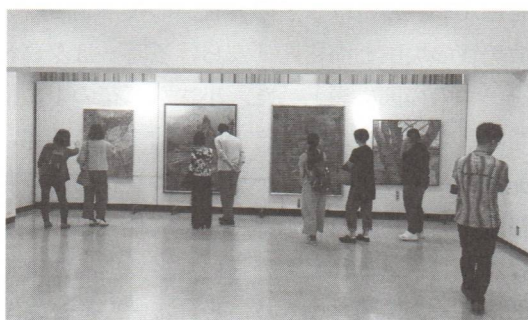
徳島新聞社長賞の久保守近「光の中に」は、水墨画の意欲的な大作で構図も安定していて画面に広がりがあった。特選の梶浦千瑞「父の道具棚」は、ありふれた場面を抑えた色で情感豊かに描いており、味わい深い。準特選の吉村敬子、秋月ヒサヨ、清水佳代子の作品は、どれも特徴や面白みがあり、しっかりと描かれていて、好感が持てた。

特別出品2、招待7、無鑑査2、賛助1、入選・入賞24の計36点を展示した。

また、吉野川市文化研修センターで開催された県展選抜展では、日本画は特別出品他、計12点を展示した。



県美術展 日本画部作品講評風景



県美術展 日本画部会場風景

会員消息 (県展・放美展を除く。月別。)

1月	改組新第4回日展	京都市勧業館みやこめっせ	土方るみ子 (基本選定作品巡回)
2月	新春日本画四人展	鳴門キョーエイ	後藤田実
	第46回徳島市芸術祭美術展	シビックセンターギャラリー	
			土方喜美子 (特別出品)・鈴木恵子 (招待)
			久保守近
	改組新第4回日展	大阪市立美術館	土方るみ子 (基本選定作品巡回)
3月	NTT 趣味の作品展	あわぎんホール	藤井吉信
	第1回佐古絆文化協会作品展	佐古コミュニティーホール	
			久保守近
4月	改組新第4回日展	大分県立美術館	土方るみ子 (基本選定作品巡回)
	西野和男日本画展	そごう徳島展	西野和男
	第2回新日春展	東京都美術館	土方るみ子
	第4回うたづ Art Award ビエンナーレ	Arts センター・ユープラザうたづ	
			水田貴子
	第58回日本南画院展	大阪市立美術館	長谷壽・藤井瑞雲
	第22回日本の美しい自然	東京芸術劇場ギャラリー	久保守近
5月	長尾弘子主催朱泥会小品展	田岡ギャラリー万代町	長尾弘子・他6名

	第 57 回阿南市春季美術展	阿南市文化会館	長谷壽・植田忠生
	第 17 回朱泥会展 併催: とくしま県民文芸表紙絵展	アミコシビックセンター	長尾弘子・他 23 名
	第 54 回溪生社水墨画展	あわぎんホール	久保守近
	第 9 回徳島女流美術展	あわぎんホール	石原千鶴・斎藤久代 土井洋子・土方喜美子 土方るみ子・柳田一子
	改組新第 4 回日展	石川県立美術館	土方るみ子 (基本選定作品巡回)
6 月	第 2 回新日春展	堺市立文化館ギャラリー	土方るみ子
8 月	山川公民館サロン展	山川地域総合センター	藤井吉信
	第 2 回日美展	国立新美術館	久保守近
9 月	石井美術の会作品展	あわぎんホール	植田忠生
10 月	第 2 回鈴木恵子日本画展 (秋・10 月) 阿波銀行福島支店		鈴木恵子
	第 49 回津田美術展	徳島市新浜交流センター	西野和男
	第 76 回有秋会日本画展	大阪市立美術館	藤井瑞雲 (大阪府知事賞受賞)
11 月	第 14 回吉野川市文化祭	川島町体育館	藤井吉信
	第 47 回阿南市文化祭美術展	阿南市文化会館	長谷壽・植田忠生
	第 21 回溪生社小品展	阿波銀プラザ臨時ギャラリー	久保守近
	平成 30 年阿南市福井町文化祭作品展	福井町総合センター	長谷壽
12 月	第 27 回田野全国水墨画展	田野町ふれあいセンター	久保守近
	山川町公民館祭	山川地域総合センター	藤井吉信
	第 47 回歳末チャリティー作品・色紙即売展 そごう徳島店 6 階		西野和男・岡英彦 土方るみ子・土方喜美子 久保守近・中川敬

洋 画 部

部 会 長 平 木 美 鶴

年間展望

◎第 26 回放美展 会期：5月2日～5月6日 場所：あわぎんホール

出品者数 134 人で出品数 145 点中 84 点の入選（入賞を含む）で、入選率は 58%、審査員は、露口敏幸、西川周三、鈴木敬子でした。放美賞の藤本誠子さんの作品「少年」は、モチーフの散りばめ方が良く補色対比の色彩が美しい愛情ある作品でした。優秀賞は 6 名でした。大坪潤一郎さんは、イメージの組み合わせに個性ある作品、西條敏夫さんは、構成がしっかりした作品、山口あけみさんは、色や形に優しさのある作品、北村照子さんは、スケッチ風の描き方にリアリティーのある作品、伊瀬谷昭博さんは、動感ある画面が特徴的な作品、高校生の榎原奈々さんは、迫力ある絵作りに特徴ある作品でした。四国大学賞は、高校生らしい作品で悩み多き時代の共感を評価された中矢千尋さんの作品でした。以下に僅差で賞とはならなかった 7 名の賞候補者の氏名（受賞者は除く）を記します。林静代、遠藤久美子、米田和希子、米田一貴、田中敏雄、富田百香、横畠寛の各氏です、次回の励みとしていただければ幸いです。

今回も 5 月 3 日に榊田務先生と平木で展示会場においてギャラリートークを開催しました。受賞者と入選者に作品説明をしてもらい、それに対して 2 人がコメントする形で進めました。72 名程度の参加者があり、みなさんの関心の高さを感じました。



放美展の審査風景

◎第 32 回洋画部会員展 会期：7月5日～7月8日 場所：あわぎんホール 3F A 展示室

今回の会員の出品者数は 82 名（昨年より 1 名増）でした。会期中の 7 月 8 日に放美展審査員である露口敏幸、西川周三、鈴木敬子の 3 名が会場にてギャラリートークを開催しました。80 名程度の参加があり活発な意見交換となり盛況で会員同士の交流と会員展の充実を計れたと思います。今後とも継続していければと思います。

洋画部会員展事務局は以下です。

中 央：伊勢浩章、遠藤誠一、黒崎志郎、嵯峨潤三、玉田秀子、露口敏幸、長尾弘久、
手塚てる子、西川周三、榊田 務、平木美鶴
北 部：越久高照、二條 均、田中シゲミ、島上二郎

南 部：佐藤敬子、中辻奈美枝、福良哲子

西 部：近藤克子、鈴木敬子、松川 寛

事務局：清水 博 会計：佐藤敬子 監事：杉本祥子

◎第73回県美術展 会期：10月5日～10月10日 場所：あわぎんホール

出品者数は203人、出品数247点中、151点の入選（入賞も含む）で入選率は61.1%でした。審査員は多摩美術大学名誉教授の室越健美先生をお迎えしました。絵を上手に描く人は多いが、絵にメッセージを込めてほしい、それは自己満足ではなく多くの人の心に響くものであってほしいが、今回の特選作品にはそのような響くものがあったと評されていました。

今回の審査では入選作から28点の賞候補を選び、そこから14点の受賞作が選ばれました。賞と候補の質の差はなく、どの作品が受賞してもおかしくないと思います。今回より受賞作品と賞候補を中心とした展示にも工夫をしました。以下に賞候補者の氏名（受賞者は除く）を記します。

新居麻里子、石山彰子、加川由紀子、米田あゆみ、前野亮治、吉岡毅、徳元丈士、小浜敏也、米田恵美子、大家敏宏、黒島貞子、林伸也、花菱良一、高橋幸二



審査員の室越健美先生と洋画部委員

会員消息（県展・放美展を除く）

- 青木 幸子 第32回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第16回展（阿波銀プラザ・シビックセンター）、第6回KENDO洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、東富田文化祭（東富田コミュニティーセンター）
- 東 紀美子 徳島アート21第16回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第57回阿南市美術展・第47回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）
- 阿部 昌子 第49回土曜展（シビックセンター）、第74回青美展（あわぎんホール）
- 天田 弘行 第50回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、第50回石井美術の会（あわぎんホール）、パステル・水彩スケッチ展（Brisa）
- 井沢 忠明 第3回青彩美術・あわ洋画ぐるうぷ合同展（シビックセンター）、加茂谷秋の

文化祭（加茂谷公民館）

- 伊勢 浩章 徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第 32 回洋画部会員展・第 35 回平和美術展・第 74 回青美展（あわぎんホール）
- 乾 繁春 第 78 回美術文化展（都美術館）、同巡回展（クリエート浜松・大阪市立美術館）、第 28 回美術文化徳島支部展・第 77 回世代美術展・第 11 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、第 9 回鳴門水彩美学展・「時のかたち、思うがままに」乾繁春絵画展画集発刊記念（シビックセンター）
- 岩井 千晴 徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）
- 宇高 桂子 第 72 回女流画家協会展（都美術館）、第 9 回徳島女流美術展（あわぎんホール）
- 梅津美砂代 文化講座作品展（シビックセンター）
- 遠藤 誠一 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 16 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、徳島版画選抜展（阿波和紙伝統産業会館）、徳島版画グループ展（花杏豆鴨島店）
- 大津 憲文 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 57 回阿南市美術展・第 47 回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）
- 大坪潤一郎 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 43 回土日会展（国立新美術館）
- 大西 文代 第 35 回青彩美術・第 43 回あわ洋画ぐるうぷ合同展（シビックセンター）
- 大西利津子 第 32 回洋画部会員展・春季徳島二紀展（あわぎんホール）、第 33 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 72 回二紀展（国立新美術館）
- 小笠原秋子 第 46 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、三好郡・三好市教職員春風展（たばこ資料館）、三好市文化祭（三好市体育館）
- 岡田 君代 第 50 回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第 36 回平和美術展・第 71 回示現会展巡回徳島展・示現会交流展・第 32 回洋画部会員展・第 74 回青美展（あわぎんホール）
- 越久 高照 風景画二人展（キョーエイ鳴門駅前店 4F ギャラリー）、第 46 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 29 回板野美術クラブ展（板野町文化の館）
- 加川由紀子 徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第 6 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 片山美代子 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、阿波・吉野川美術交流展（吉野川文化研修センター）、第 3 回カロリト展・阿波市文化祭（阿波市交流アエルワ）
- 河田 安市 第 94 回白日会展・第 5 回日展（国立新美術館）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 河野 公子 第 32 回洋画部会員展・第 36 回平和美術展・第 74 回青美展（あわぎんホール）、鳴門市展（キョーエイ鳴門 4 階ギャラリー）
- 河本多恵子 徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第 6 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、国府文化祭（国府コミュニティーセンター）
- 岸本 花子 第 56 回全展（都美術館）、全展第 21 回受賞者選抜展（埼玉会館）、全展網走支部展（網走文化交流センター）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 41 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 46 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）

- 木谷 弘 第28回美術文化徳島支部展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）、第77回世代美術展・第6回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第32回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 黒崎 志郎 第106回日本水彩展（都美術館）、第49回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第32回洋画部会員展・第71回示現会展巡回徳島展（あわぎんホール）、第71回示現会展（国立新美術館）
- 後藤ユリ子 第78回美術文化展（都美術館）、第28回美術文化徳島支部展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第32回洋画部会員展・第74回青美展にて青美賞（あわぎんホール）、短歌と絵画の彩り展（シビックセンター）、第82回自由美術展佳作賞（国立新美術館）
- 近藤 克子 第84回東光展（都美術館）、第75回東光会徳島支部展・第32回洋画部会員展・第9回徳島女流美術展（あわぎんホール）、第77回世代美術展・第11回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、第40回鴨島美術グループ展（鴨島文化研修センター）、近藤克子絵画展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 西條 敏夫 第30回記念現代パステル協会（都美術館・大阪市立美術館）、スレートプレートアート展（喫茶カシユカシュ）、オイルパステル画展（櫻ギャラリー）
- 嵯峨 潤三 徳島アート21第16回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第77回世代美術展・第16回徳島版画展（阿波銀プラザ）、第32回洋画部会員展（あわぎんホール）、抽象画と木版画展（鴨島花杏豆）、木版抽象画展（ギャラリーカフェブリッサ）、徳島版画選抜展（阿波和紙伝統産業会館）
- 佐々木公子 徳島アート21第16回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第3回つくしの会小品アート展（那賀川町図書館）、第32回洋画部会員展（あわぎんホール）、羽ノ浦町公民館フェスタ（羽ノ浦町公民館）、第4回つくしの会展（阿南市文化会館）
- 佐藤 敬子 第32回洋画部会員展・第74回青美展（あわぎんホール）、第11回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、八万町文化祭（八万町公民館）
- 篠原佳代子 第15回旅の風展（京都ギャラリーカト）、第43回昭和美術会展（京都市美術館別館）、第32回洋画部会員展・第9回徳島女流美術展（あわぎんホール）、第51回京洛美術院作品展（ギャラリーきむら京都）、第26回篠原佳代子個展（ギャラリー喫茶アンデルセン）、第11回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）
- 四宮 久子 第72回二紀展（国立新美術館）、第32回洋画部会員展・春季徳島二紀展（あわぎんホール）、第33回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、アトリエバク展（桜茶屋ギャラリー）
- 志摩 正照 第32回洋画部会員展（あわぎんホール）、第40回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 島上 二郎 第5回日展（国立新美術館）、第84回東光展（都美術館）、第75回東光会徳島支部展・第32回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 島田 純江 第47回絵で見る徳島展・第50回画展ふると（あわぎんホール）、第6回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、渭北文化祭（渭北コミュニティセンター）
- 清水 亟悞 第45回清水亟悞個展（花杏豆ギャラリー）

- 下時治郎秀臣 第 94 回白晝会展（国立新美術館）、白晝会展（大阪近鉄画廊）、第 32 回洋画部会員展・現代洋画秀作展（あわぎんホール・大阪梅田画廊）、二市交流展（吉野川市文化研修センター）
- 白草 由子 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 杉本 祥子 第 72 回女流画家協会展（都美術館）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第 5 回 KENDO 洋画グループ作品展（シビックセンター）、第 6 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、杉本祥子展（眉峰ギャラリー）
- 鈴木 敬子 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 40 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 武田 洋子 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、三好郡・三好市教職員春風展（たばこ資料館）、阿波市文化祭（アエルワ）、阿波絵画クラブ展（阿波図書館）
- 竹原 良亮 第 46 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、東富田地区秋季文化祭（東富田コミュニティーセンター）、合同展（ギャラリーカフェローズマリー）
- 田中 敏雄 第 46 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 80 回一水会展（都美術館）、第 57 回一水会選抜展（日本橋三越美術画廊）、田中敏雄展（キョーエイ鳴門駅前店）
- 田中シゲミ 第 46 回徳島市芸術祭美術展招待出品（シビックセンター）
- 谷 慎也 第 49 回土曜展（シビックセンター）、第 30 回現代パステル協会展（都美術館）、第 36 回平和美術展、第 74 回青美展（あわぎんホール）
- 谷口 克子 板野美術クラブ展（板野町文化の館）、第 49 回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）
- 玉田 秀子 徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第 3 回つくしの会小品アート展（那賀川図書館）、第 4 回つくしの会展（阿南市文化会館）
- 露口 敏幸 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 77 回世代美術展（阿波銀プラザ）
- 手塚てる子 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、手塚てる子版画展（ギャラリーカフェローズマリー）、第 16 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、徳島版画選抜展（阿波和紙伝統産業会館）
- 長尾 弘久 長尾弘久版画展（鳴門キョーエイ）、版画小品展（ギャラリーカフェローズマリー）第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 16 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、徳島版画選抜展（阿波和紙伝統産業会館）、徳島版画グループ展（花杏豆鴨島店）
- 長坂 芳子 第 84 回東光展（都美術館）、第 75 回東光会徳島支部展・第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 中辻奈美枝 徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第 57 回阿南市美術展・第 47 回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）
- 中村 恵一 第 32 回日洋展（新国立美術館）、同大阪展（大阪市立美術館）、石井美術の会 50 回展（あわぎんホール）
- 中村 俊夫 第 6 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 西 富美 第 86 回独立展（国立新美術館）、第 86 回独立大阪展（大阪市立美術館）、第 17 回埼玉独立展（埼玉県立近代美術館）、仮面展（銀座ギャラリー GK）、

SCENE2018~ 表現する私たちの軌跡展（東京銀座アートホール）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、独立春季新人選抜展 2018（都美術館）、2018 武蔵野美術大学大阪支部展（大阪リーガロイヤルホテル）

- 西川 敬子 徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第 32 回洋画部会員展・徳島女流美術展（あわぎんホール）、関西水彩画展（大阪市立美術館）
- 西川 周三 徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 二條 均 第 36 回平和美術展・第 32 回洋画部会員展・第 74 回青美展（あわぎんホール）、第 29 回板野美術クラブ展（板野町文化の館）、徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）
- 野上 恵子 第 41 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 46 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、佐那河内ふれあいまつり（旧村の体育館）
- 野口 暁子 第 41 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 林 静代 第 62 回兵庫二紀展（原田の森美術館）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、アトリエバクグループ展（桜茶屋ギャラリー）
- 林 康太郎 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 林 信夫 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 坂東 富恵 第 6 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 坂東 悦子 第 5 回アワ・アート作品展（阿波銀プラザ）
- 日野 邦恵 第 84 回東光展（都美術館）、第 75 回東光会徳島支部展・第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 40 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）、第 11 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、日野邦恵・河村君子洋画二人展（ギャラリーカフェ・ブリッサ）
- 平木 美鶴 個展（日本橋高島屋美術画廊）、第 62 回 CWAJ 現代版画展（代官山ヒルサイドパレス）、第 72 回二紀展（国立新美術館）、第 86 回日本版画協会展（都美術館）、第 33 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 32 回洋画部会員展・春季徳島二紀展（あわぎんホール）、第 16 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、徳島版画選抜展（阿波和紙伝統産業会館）、京都版画 2018 四国・中国ブロック展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、個展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 平田スミコ 第 72 回女流画家協会展（都美術館）
- 福本 恵 第 32 回洋画部会員展・春季徳島二紀展（あわぎんホール）、第 33 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 46 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）
- 福良 哲子 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 41 回八紅展（阿波銀プラザ）
- 藤井 香世 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 5 回 KENDO 洋画グループ作品展（シビックセンター）、第 6 回 KENDO 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 藤丸 家栄 徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）
- 藤本 誠子 第 20 回アトリエバクグループ展（桜ギャラリー）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 前川フキ子 第 3 回つくしの会小品展（那賀川町図書館）、第 32 回洋画部会員展・示現会徳島交流展（あわぎんホール）、第 4 回つくしの会展（阿南市文化会館）、羽ノ浦

公民館フェスタ（羽ノ浦町公民館）、徳島アート 21 第 16 回展（シビックセンター・阿波銀プラザ）

- 前川 富子 第 77 回水彩連盟展（国立新美術館）、第 78 回美術文化展（都美術館）、美術文化徳島支部展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、水彩連盟展（国立新美術館）、第 32 回洋画部会員展・石井美術の会 49 回展（あわぎんホール）、葉草スケッチ展（徳島大学葉草園）、二人展（徳島メガネ石井店）
- 榊田 務 第 32 回洋画部会員展・生きがい展・第 75 回東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第 46 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 74 回徳島県展選抜展（吉野川市文化研修センター）
- 松川 寛 第 68 回モダンアート展（都美術館）、第 68 回モダンアート京都展（京都市美術館別館）、第 50 回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、スケッチ二人展（ブリッサ）
- 眞鍋たえ子 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 眞野 尚枝 第 80 回記念一水会展（都美術館）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 馬淵 博子 第 20 回アトリエバクグループ展（桜ギャラリー）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 馬淵 尚子 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、吉野川総合美術展・第 40 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 三沢 尚子 三沢尚子水彩画展同時開催父故中川隆史水彩画展（シビックセンター）、それいゆ水彩画展（あわぎんホール）、三沢尚子個展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 峯 幸子 第 9 回徳島女流美術協会展・第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 82 回新制作協会展（国立新美術館）、同巡回展（原田の森ギャラリー）、む・アート展（阿波銀プラザ）
- 養手日登美 第 68 回モダンアート展（都美術館）、第 68 回モダンアート展巡回展（京都市美術館別館）、第 50 回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、関西モダンアート展（リーガロイヤルホテル大阪）、第 9 回徳島女流美術協会展・第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 45 回鴨島文化サロン展（手作りの店本郷）、第 7 回あとえみのん絵画講座作品展（福田珈琲）
- 三好 初子 第 84 回東光展（都美術館）、第 75 回東光会徳島支部展・第 32 回洋画部会員展・第 9 回徳島女流美術協会展（あわぎんホール）、第 46 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 40 回白鳳洋画グループ展（キョーエイ鳴門駅前店）
- 山口美千代 第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）、三好市文化祭（三好市公民館）
- 結城 栄子 第 46 回むアート展（阿波銀プラザ）
- 横井嘉世恵 第 46 回徳島市芸術祭美術展招待出品（シビックセンター）、第 32 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 米沢 博 第 24 回徳島県健康福祉大会美術展（あわぎんホール）
- 和田 寿子 第 46 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 32 回洋画部会員展・第 47 回絵で見る徳島展・第 50 回画展ふるさと（あわぎんホール）

写 真 部

部 会 長 上 野 照 文

年間展望

○第 26 回放美展（平成 30 年 5 月 2 日（水）～ 6 日（日）あわぎんホール）

今年の出品点数は 285 点、入賞数が 13 点、入選数が 133 点であった。



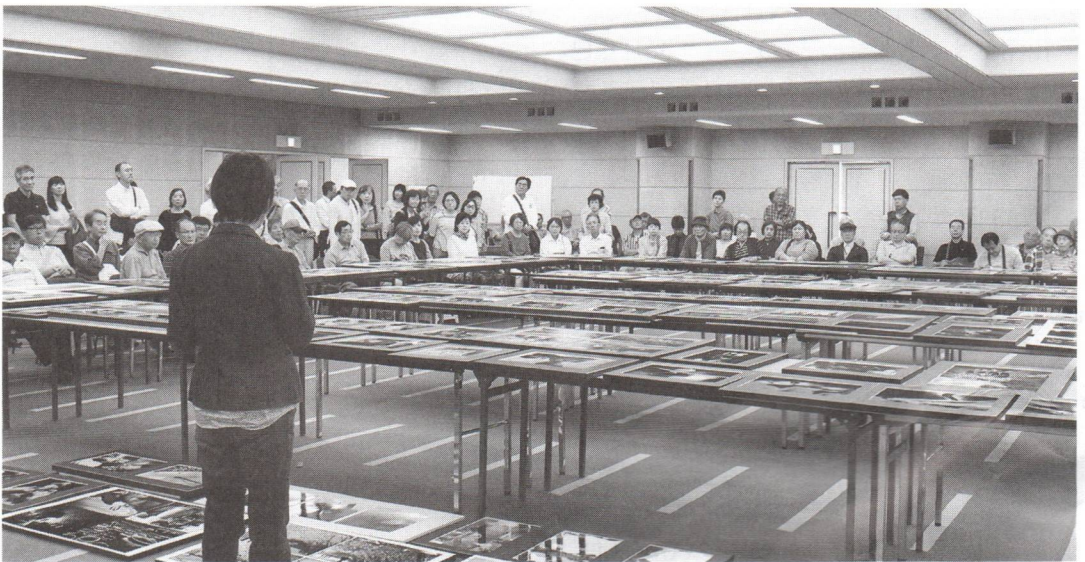
放美展 写真部審査風景



放美展 写真部ギャラリートーク

○第 73 回県美術展（第 2 期 平成 30 年 10 月 12 日（金）～ 17 日（水）あわぎんホール）

写真部門搬入審査日は台風 24 号直撃を受け延期になり 10 月 8 日に順延された。審査員の『蜂須賀秀紀先生』が日程の都合がつかず、急遽『大石芳野先生』に交代し、搬入審査会場も新聞放送会館 7 階に変更になり混乱の中、出品者ほか各位にはご迷惑をおかけしたが、無事県展を迎えられた。



県美術展 写真部審査風景

○県美協写真部撮影会

写真部が毎年実施している会員限定の写真撮影会を今年は7月15日に京都『祇園祭宵々山』に会員45名参加で開催した。日中は38℃にもなる猛暑の中、参加者は無事帰路についた。井上憲治 / 林敏彦 / 三木理司各委員にお世話願った。

会員消息

◎ねこ写真展・Ⅱ（1月5日（金）～29日（月）徳島市立図書館前ギャラリー

出品者：高橋一恵・滝島豊美

◎第33回全日本写真連盟県本部写真展（1月26日（金）～28日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：秋田召旨・秋山修一・阿部啓三・井藤光章・稲井健司・井上憲治・大津勝治
岡本早苗・岸田義市・佐治 孝・田村泰弘・長野 寛・野藤敏美・野藤みきよ
橋本圭祐・橋本 勝・林 敏彦・林 好一・板東泰雄・姫野博司・福井邦博
福井純子・福田 勉・藤川光昭・水口義行・宮本幸治・森 賢一・山下助信
山田 卓・吉村敏嗣

◎三好和義写真展『写真生活45周年 徳島から世界の楽園へ』（2月23日（金）～28日（水）徳島市そごう6F）

◎日本風景写真協会 第12回徳島支部展（3月2日（金）～4日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：岩崎英昭・板東よしお・吉田隆之

◎第49回ナルトピンぼけクラブ写真展（3月16日（金）～18日（日）キョーエイ鳴門駅前店）

出品者：賀川泰弘・木田英之・武知 雅・増田 実

◎写真二人展『そうめん物語』（4月1日（日）～30日（月）徳島市立図書館5F ギャラリー）

出品者：岸田義市・西岡まゆみ

◎第4回 徳島新光会写真展（4月6日（金）～8日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：三木理司・三谷美津子・光井雅巳

◎第19回 ニッコールクラブ徳島支部写真展（4月13日（金）～15日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：秋田召旨・井藤光章・川真田慶治・櫛渕 魏・藤川光昭・堀口幸男・増田 寿
森 光・森 賢一

◎第35回 サンカ会写真作品展（4月14日（土）～16日（月）徳島市シビックセンター）

出品者：田中伸廣・森内昭男

◎第12回 写好館クラブ写真展（4月20日（金）～22日（日）徳島市ヨンデンプラザギャラリー）

出品者：岸田義市・木田英之・山田 卓

◎滝島豊美『キューバ・旅日記』（5月18日（金）～20日（日）徳島市ギャラリーヒラオカ）

◎第18回 UNIT-D 写真作品展（5月18日（金）～21日（日）徳島市阿波銀プラザ）

出品者：井上憲治・上野照文・熊谷美智子・高橋一恵・多川静守・滝島豊美・野口佳一
橋本圭祐・林 敏彦・堀口幸男・増田 寿

◎第41回 写真同人『炎』作品展（6月8日（金）～6月10日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大津勝治・佐治 孝・田村泰弘

伊達照子・土橋成行・野口佳一・林 敏彦・廣野美智子・堀口幸男・森 賢一

◎第 24 回 ライカクラブ写真展（6 月 22 日（金）～ 24 日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：井上秀人

◎第 13 回 写真同人『光』写真展（8 月 31 日（金）～ 9 月 2 日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：遠藤博敏・田村泰弘・二階博司・林 和彦・林 敏彦・林 好一・姫野博司

廣野美智子・福井邦博・福井純子・福田 勉・松浦 孝・水口義行・山下助信

◎第 65 回 二科会写真部展（9 月 6 日（木）～ 17 日（月）東京国立新美術館）

入賞者：幾田茂仁・石川徹雄・佐野和史・谷 嘉明・土橋成行・平澤澄子・平野史子

姫野博司・南 敦子・森内昭男・森住 博・大和章人・大和健司

◎第 8 回 木田英之 & 写真クラブ合同展（9 月 7 日（金）～ 9 日（日）県立近代美術館ギャラリー）

出品者：賀川泰廣・岸田義市・木田英之・木内正大・高島武夫・武知 雅・林 好一

古岡友子

◎第 8 回 Gruppo Foto23 写真展（9 月 7 日（金）～ 10 日（月）阿波銀プラザ）

出品者：上野照文・大塚 尚・大西啓子・岸田義一・熊谷美智子・斉藤幹夫・高橋一恵

田中伸廣・谷ひづる・西岡まゆみ・吉田隆之

◎第 58 回 写楽会写真展（9 月 22 日（土）～ 24 日（月）徳島市シビックセンター）

出品者：上野照文・川真田慶治・岸田義市・櫛渕紳哉・櫛渕 魏・西岡まゆみ・堀口幸男

板東泰雄・森 光・山田 卓

◎第 65 回 阿波踊り写真コンクール（10 月 13 日（土）～ 26 日（金）徳島市阿波踊り会館）

入賞者：柳本 正・秋山修一・野藤敏美・野藤みきよ・板東よしお・秋田召旨・林 好一

谷 嘉明・増田 実・阿部啓三

◎第 5 回 写真倶楽部八丁目写真展（10 月 20 日（土）～ 10 月 22 日（月）徳島市シビックセンター）

出品者：富岡佳代子・板東律雄・南 敦子・森内昭男・山下修司

◎第 9 回 木田写真クラブ『連作写真』展（10 月 26 日（金）～ 28 日（日）県立美術館ギャラリー）

出品者：木田英之・林 好一

◎第 17 回 キヤノンフォトクラブ写真展（11 月 1 日（木）～ 11 月 6 日（火）徳島市阿波銀プラザ）

出品者：稲井健司・野口道子・橋本 勝

◎第 25 回 朝日四国写真展（11 月 4 日（日）松山市道後市立子規記念博物館にて審査）

入賞者：秋山修一・阿部啓三・井藤光章・岡本早苗・大津勝治・二階博司・橋本 勝

林 敏彦・宮本幸治・姫野博司・福井邦博・福井純子・福田 勉・吉村敏嗣

◎日本リアリズム写真集団徳島支部『流域・吉野川』写真展（11 月 9 日（金）～ 11 日（日）

ヨンデンプラザ徳島）

出品者：木田英之

◎熊谷美智子写真展『LIEN』（11 月 15 日（木）～ 18 日（日）徳島市ギャラリーヒラオカ）

彫 刻 部

部 会 長 松 永 勉

年間展望

◎第 26 回放美展（平成 30 年 5 月 2 日（水）～6 日（日）あわぎんホール）

今回の応募者数は 26 人で、出品点数は 29 点であった。点数では前回より 4 点多い。出品者 26 人のうち 15 名が学生であった。この分野での若い人の意欲的な作品が増えており、今後に期待したい。

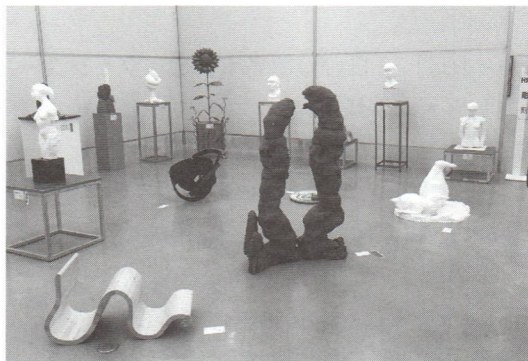
放美賞を受賞した吉田陽子さんの「時空」はセラミックの大作でダイナミックな形態と粘土の素朴な味を際立たせた表現が評価された。

優秀賞の鈴江空里子さんの「楽園のメロディー」は塑像の表情や動きを上手に表現し仕上げている点が評価された。

四国大学賞の美馬健太郎さんの「華鳥風月」は、ペットボトルを切り刻んだパーツで等身大の鷲を表現している。素材選択の発想力、表現力の高さが評価された。

（審査員として、井下俊作、武田亜希子、居上真人が務めた）

放美展彫刻部のギャラリートークは 5 月 6 日（日）14 時から開催された。上月佳代さん、武田亜希子さんが作品を解説し、多くの参加者からの質問に答えた。



放美展 彫刻部展示風景



放美展 彫刻部ギャラリートーク

◎第 73 回県美術展（第 1 期 平成 30 年 10 月 5 日（金）～10 月 10 日（水）あわぎんホール）

今回の審査員は、東京造形大学教授で彫刻家の井田勝己先生である。出品総数は 28 点で、前回より 3 点増えた。そのうち 17 点が入賞・入選作品に選ばれた。展示総数は無審査出品を含めて 27 点であった。特に今回は特選特別賞の県知事賞に高校生の大西彩音さんの「時の流れ」が選ばれた。彩色した和紙を立体に張り付けた大作であり、素材の扱い方が斬新であった。

審査総評として、「作品にいろんな素材が使われ、多様性があることに好感を持った。その一方で優れた作品と、そうでない作品との差が大きい印象を受けた。アイデアはいいのに、作りが雑な作品があったのも惜まれる。いいものを作るためには地道に観察することが大切。

自由な発想とともに、冷静な目を養ってほしい」と述べられた。



県美術展 彫刻部審査風景



県美術展 彫刻部展示風景

会員消息 (県展・放美展関係は除く。順不同)

居上 真人	2月	第46回徳島市芸術祭美術展特別出品	シビックセンター
	4月～5月	善通寺フラワー＆ガーデンフェスタ 2018	
		「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園	
	9月	2018 宮崎国際現代彫刻展	宮崎市
	9月	第103回二科展	国立新美術館
	10月～11月	第56回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
井下 俊作	10月～11月	第56回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
河崎 良行	3月	春季徳島二紀展	あわぎんホール
	5月	第2回現代造形表現作家フォーラム展	東京都美術館
	6月	第1回絵画・彫刻二紀会選抜台湾展	国立台湾芸術大学
	8月	第33回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10月	第72回二紀展	国立新美術館
	11月	第5回記念花とみどり・いのちと心展	国営昭和記念公園
鎌田 邦宏	2月	第46回徳島市芸術祭美術展審査員出品	シビックセンター
	3月	春季徳島二紀展	あわぎんホール
	3月	第8回二紀会会員彫刻展	東京銀座ギャラリー 青羅
	6月	第1回絵画・彫刻二紀会選抜台湾展	国立台湾芸術大学
	8月	第33回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	9月	2018 奥出雲彫刻小品展	島根県旧横田ガラス工芸館
	10月	第72回二紀展	国立新美術館

	12 月	第 47 回歳末チャリティ作品・色紙即売展	そごう徳島店
木村 大志	3 月	春季徳島二紀展	あわぎんホール
	8 月	第 33 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10 月	第 72 回二紀展	国立新美術館
上月 佳代	2 月	第 46 回徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	3 月	春季徳島二紀展	あわぎんホール
	3 月	第 8 回二紀会会員展	東京銀座ギャラリー 青羅
	6 月	第 1 回絵画・彫刻二紀会選抜台湾展	国立台湾芸術大学
	8 月	第 33 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10 月	第 72 回二紀展	国立新美術館
	11 月	八人展	moi moi gallery
近藤 美暁	3 月	春季徳島二紀展	あわぎんホール
	8 月	第 33 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10 月	第 72 回二紀展	国立新美術館
佐藤 隆	10 月～11 月	第 56 回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
武田亜希子	2 月	第 46 回徳島市芸術祭美術展特別出品	シビックセンター
	3 月	春季徳島二紀展	あわぎんホール
	6 月	第 1 回絵画・彫刻二紀会選抜台湾展	国立台湾芸術大学
	8 月	第 33 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10 月	第 72 回二紀展 I 氏賞受賞	国立新美術館
	12 月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	ギャラリーせいほう
長岡 強	4 月～5 月	日彫展 日本彫刻会運営委員として出品	東京都美術館
	11 月	改組新第 5 回日展 会員として出品	国立新美術館
林 一美	2 月	木彫展示	徳島ホテルサンシャイン
東 光司	1 月	モダンアート徳島支部展	阿波銀プラザ臨時ギャラリー
	4 月	第 68 回モダンアート展	東京都美術館
	6 月	京都展	京都市美術館別館
松永 勉	2 月	第 46 回徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	3 月	Sculpture by the Sea , Cottesloe 2018	オーストラリア パース

4月～5月	善通寺フラワー＆ガーデンフェスタ2018「a→gアートtoガーデン」 善通寺五岳の里 市民集いの丘公園	
4月	東京赤坂女子高記念碑制作	東京赤坂
9月	2018 奥出雲彫刻小品展	島根県旧横田ガラス工芸館
9月	第73回行動展 会員出品	国立新美術館
9月	徳島現代クラフト協会創立30周年記念展 招待出品	あわぎんホール
10月	第73回行動展大阪巡回展	大阪市立美術館
10月～11月	第56回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
10月	Sculpture by the Sea, Bondi 2018	オーストラリア シドニー
11月	2018 とみ山フィールド・アートワーク出品	島根県富山町
12月	石見銀山彫刻小品展	島根県大田市大森町
12月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	銀座ギャラリーせいほう

美術工芸部

部会長 松下 慶一

年間展望

◎第26回放美展 5月2日(水)～6日(日) あわぎんホール



第26回放美展の審査風景

4月29日(日)搬入審査が行われた。出品数は前回より3点少ない110点であった。ジャンル別では陶磁作品の52点、押し花19点、パッチワーク13点、ガラス8点の順に多かった。その中から77点を入選とし、放美賞1点、優秀賞4点、四国大学賞1点が選出された。審査員出品3点、無鑑査出品3点も展示された。少し点数は減少したが意欲作が多

かった。

美術工芸部ギャラリートークが5月6日(日)午前11時から開催され、多くの聴講者があり、受賞作品を中心に審査員3名が解説し質問を受けた。

審査員は森賢一(木)、森明治(陶磁)、藤井哲信(ガラス)がつとめた。

◎第73回県美術展 第2期10月12日(金)～17日(水) あわぎんホール

第73回県美術展の美術工芸部門の応募作品点数は144点(前回135点)、出品者は96人(前回97人)と出品数は9点増えた。作品は力作が多く内容のある作品が多かった。

今回の審査員は東京芸術大学名誉教授の島田文雄先生(陶磁)にお願いした。第47回、50回、58回、61回に続き今回5度目の審査だった。



第73回県展の審査風景

総評では「レベルの高い作品がそろっている印象を受けた。単につくるだけでなく“自分はこうしたい”との意気込みが芸術作品。そして良い作品を生み出すため、根気よく創作に取り組んで欲しい。今回藍染作品が少ないので多く出品をして欲しい」ということであった。



第73回県展で賞を決める島田先生

審査後出品者の方々に参加を募り場所を変えて「審査員の先生を囲む会」をひらき、島田先生からこれからの徳島の美術工芸についても貴重な示唆をいただいた。



審査の後、講評する島田先生

◎美術工芸部会員作品展 平成30年3月1日(木)～4日(日) あわぎんホール

約30年ぶりとなる会員作品展があわぎんホールで開かれました。美術工芸部の基礎を築いて下さった4名の先生方の作品も出品していただきました。また何年か先に開催をと意見がありました。

〈特別出品者〉 高橋勇先生、(故)釜床誠一先生、(故)森昌男先生、(故)森浩先生

〈出品者〉

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|---------|--------|--------|
| ・天野 和子 | ・犬伏 絢 | ・大貝 貞雄 | ・大貝 寿子 | ・落久保重利 | ・久保 英樹 |
| ・越 由子 | ・近藤佐起江 | ・近藤美佐子 | ・斎藤 和彦 | ・斎藤 康男 | ・佐治 孝 |
| ・七條猪三郎 | ・四宮 千代 | ・高瀬 裕司 | ・多智花佐代子 | ・橘 恵 | ・田村栄一郎 |
| ・手塚 健一 | ・鳥井 明子 | ・内藤 久子 | ・長尾 敏子 | ・中川 存 | ・西 浩子 |
| ・野村 裕子 | ・板東 啓子 | ・平井 恵子 | ・平尾 静子 | ・福本美智代 | ・藤井 哲信 |
| ・藤中 教代 | ・前野 亮治 | ・松下 慶一 | ・松下 敏之 | ・松下 雄介 | ・松本 宏 |
| ・丸居 哲雄 | ・向 紫 | ・森 明治 | ・森 賢一 | ・家形笑美子 | ・矢野 款一 |

- ・山上 馨 ・山本 和子 ・山本 由実 ・横井嘉世恵 ・吉田 眞弓 ・吉田 陽子
- ・四十宮年代 ・龍木 秀子 (50 音順)

◎第 73 回県美術展選抜展が、平成 30 年 10 月 27 日 (土) ～ 11 月 4 日 (日)、吉野川市文化研修センターで開かれました。一度に全 7 部門の優秀作品が見られてと好評でした。

◎最後になりましたが、美術工芸部会員の越由子さん (パッチワーク) が「とくしま芸術文化賞」を受賞しました。日展・日本現代工芸美術展等の功績が評価されました。

会員消息 (県展・放美展は除く)

天野 和子	・第 57 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 3 回夢のはなパッチワークキルト展	11 月	あわぎんホール
	・第 46 回全国公募県手工芸展	11 月	あわぎんホール
石井 春夫	・第 24 回徳島県健康福祉祭 (2018 とくしまねりんピック)	12 月	あわぎんホール
遠藤 勇	・だいやま陶芸村展	4 月	技の館
	・藍美展	11 月	藍住町役場
遠藤 好子	・だいやま陶芸村展	4 月	技の館
	・藍美展	11 月	藍住町役場
大内 敏男	・第 46 回徳島市芸術祭美術展 (徳島市長賞)	2 月	シビックセンター
大貝 貞雄	・第 46 回徳島市芸術祭美術展 (招待)	2 月	シビックセンター
	・第 46 回全国公募県手工芸展 (招待)	11 月	あわぎんホール
大貝 寿子	・第 46 回徳島市芸術祭美術展 (招待)	2 月	シビックセンター
	・第 46 回全国公募県手工芸展 (賛助出品)	11 月	あわぎんホール
越 由子	・第 57 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・とくしま芸術文化賞受賞記念 越由子パッチワークキルト展	7 月	あわぎんホール
近藤佐起江	・第 57 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 30 回全国手工芸コンクール in ひょうご (日本経済新聞社賞)	10 月	兵庫県民会館
近藤美佐子	・第 54 回現代工芸美術家協会四国会展	1 月	坂出かまどホール
	・第 57 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
斎藤 和彦	・日本七宝作家協会国際展	10 月	東京都美術館
四宮 千代	・鳴門市展	10 月	キョーエイ鳴門駅前店
高瀬 裕司	・第 46 回全国公募県手工芸展 (優秀賞)	11 月	あわぎんホール
多智花佐代子	・第 57 回日本現代工芸美術展 (審査員出品)	4 月	東京都美術館
	・改組新第 5 回日展	11 月	国立新美術館

鳥井 明子	・第 57 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
内藤 久子	・第 57 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・安曇野キルト公募展 2018（審査員賞）	9 月	北アルプス展望美術館
	・第 30 回全国手芸コンクール in ひょうご（ラジオ関西賞）	10 月	兵庫県民会館
	・第 7 回パッチワークキルトカーニバル 2018 in Kyoto	10 月	京都市勧業館 みやこめっせ
	・第 3 回夢のはなパッチワークキルト展	11 月	あわぎんホール
	・第 46 回全国公募県手工芸展	11 月	あわぎんホール
中川 存	・第 77 回世代美術展	7 月	阿波銀プラザ
西 浩子	・第 9 回徳島女流美術展	5 月	あわぎんホール
平井 恵子	・第 57 回日本現代工芸美術展近畿展（京都市教育委員会教育長賞）	5 月	京都市美術館別館
	・かんじる比良 2018	5 月	近江舞子森の家
	・第 69 回大津市美術展覧会（無鑑査出品）	6 月	大津市歴史博物館
	・追求の先に……美を拓くものたち展 part6	9 ～ 12 月	西堀榮三郎記念探検の殿堂
	・第 50 回滋賀県工芸美術協会展	11 ～ 12 月	草津市立草津クレアホール
	・改組新第 5 回日展	11 月	国立新美術館
	・精華學藝祭 2018	11 月	国立京都国際会館
平尾 静子	・だいやま陶芸村展	4 月	技の館
福本美智代	・第 57 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 30 回全国手芸コンクール in ひょうご	10 月	兵庫県民会館
	・第 7 回パッチワークキルトカーニバル 2018 in Kyoto	10 月	京都市勧業館 みやこめっせ
	・第 3 回夢のはなパッチワークキルト展	11 月	あわぎんホール
	・第 46 回全国公募県手工芸展	11 月	あわぎんホール
藤井 哲信	・第 26 回テーブルウェア大賞（藤田潤審査員賞）	2 月	東京ドーム
	・藤井哲信藍色のガラス展	6 月	大丸心斎橋店
	・Glass・今日展	8 月	三越日本橋本店
	・藤井哲信ガラス展	8 月	萩の庵（脇町）
	・第 14 回日本のガラス展	10 月	代官山ヒルサイドテラス
	・第 1 回北近江サケグラス公募展	10 月	長浜慶雲館
藤中 教代	・第 46 回徳島市芸術祭美術展（徳島新聞社賞）	2 月	シビックセンター
前野 亮治	・前野亮治展	5 月	ギャラリー喫茶グレイス
松下 慶一	・松下慶一作陶展	4 月	徳島そごう美術画廊
松永 卓司	・第 46 回全国公募県手工芸展（努力賞）	11 月	あわぎんホール
松本 宏	・第 61 回伝統工芸四国展	10 月	高松三越
	・第 3 回大鵬社友会徳島支部趣味の会展	3 ～ 4 月	阿波銀プラザ
丸居 哲雄	・ゆるい展	3・4 月	北島創世ホール
	・現代クラフト展	9 月	あわぎんホール
	・エナジー展 2018	10 月	文化の森
	・上板町文化祭	11 月	上板町中央公民館

向 紫	・全国現代クラフト展（奨励賞）	9月	あわぎんホール
森 賢一	・第54回現代工芸美術家協会四国会展	1月	坂出かまどホール
	・第57回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・改組新第5回日展	11月	国立新美術館
家形笑美子	・第57回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第46回全国公募県手工芸展	11月	あわぎんホール
矢野 款一	・第61回伝統工芸四国展（特別出品）	10月	高松三越
	・徳島新聞カルチャー展	11月	徳島そごう
山本 和子	・第57回日本現代工芸美術展（現代工芸本会員賞）	4月	東京都美術館
山本 由実	・第57回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第7回パッチワークキルトカーニバル 2018 in Kyoto	10月	京都市勤業館 みやこめっせ
	・第3回夢のはなパッチワークキルト展	11月	あわぎんホール
横井嘉世恵	・第46回徳島市芸術祭美術展（招待）	2月	シビックセンター
吉田 眞弓	・第3回夢のはなパッチワークキルト展	11月	あわぎんホール
吉野 由紀	・第46回徳島市芸術祭美術展（無鑑査）	2月	シビックセンター
	・第8回押し花 NIPPON 大賞	6月	
日本ヴォーグ社クラフティングアートギャラリー			
	・「花あそび」押し花作品展	6月	徳島県立総合教育センター
	・「花あそび」押し花作品展	11月	ギャラリーカフェファンファール
	・第15回押し花絵画創造展	12月	東京ガーデンテラス紀尾井町
四十宮年代	・第46回徳島市芸術祭美術展（特別出品）	2月	シビックセンター
	・四十宮年代展「創る彩り」	12月	あわぎんホール
龍木 秀子	・第54回現代工芸美術家協会四国会展	1月	坂出かまどホール
	・第57回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第7回パッチワークキルトカーニバル 2018 in Kyoto	10月	京都市勤業館 みやこめっせ
	・改組新第5回日展	11月	国立新美術館
	・第46回全国公募県手工芸展	11月	あわぎんホール

書 道 部

部 会 長 荒 井 彭 仙

年間展望

◎第 26 回放美展（5 月 2 日（水）～6 日（日）あわぎんホール）

応募数は 224 点、応募人数 188 名（前回 221 点、181 名）であり、出品数で 3 点、人数的には 7 名の増となった。

昨年に引き続き、若い層の前衛部門の出品が際立ち、学生出品が 6 割を占め（一般 92 点、学生 132 点）放美展の主旨に少しだけ近づいた展になった。

会期中のギャラリートークには、隅田英二・荒井彭仙が担当。書道展の見方、受賞作品の見所などを紹介。一般の方にも、見方に於いての解らない、難しいという先入観の一面が取り除かれた印象を残した。

展示は 放美賞 1 点、優秀賞 9 点、四国大学賞 1 点、入選 102 点、無鑑査 3 点、審査員 3 点を合わせて 119 点となった。

審査員（伊丹東龍・中尾勝子・荒井彭仙）



書道部 放美展ギャラリートーク

◎第 73 回県美術展（10 月 19 日～10 月 24 日 あわぎんホール）

応募数は 746 点、応募人数 430 名（前回 794 点、470 名）であり、前回に比べ 48 点、31 名の大幅な減少になった。素因は見当たらず、各部が揃って伸び悩みを見せてしまったようであり、一次的な現象で留まってほしいものである。

審査員は、伊藤一翔・岡田直樹・井之上南岳の三先生であった。作品評に於いては意欲的、且つ洗練された作品揃いと、レベルの高さに触れて称賛された。

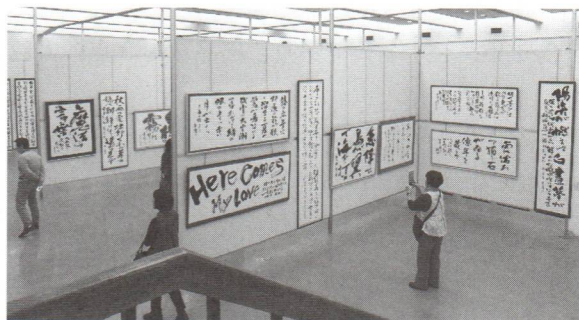
前期展（他部門）で天候不順による行程変更が生じたため、例年会場で配布される目録が

後期展の書道部にも及んで、不備となってしまった。

出品者や観客の方からは残念の声が聞かれた。

関連した特色としては、今回初めて、第73回徳島県美術展選抜展と銘打って、選抜展が吉野川文化センターで開催された。(NPO 法人吉野川市文化センター主催)

特別出品・「特選、準特選、奨励賞」と吉野川市在住又は出身者の入選作品という制限はあったものの、書道部からは59点が移動展示され見応えのあるものになった。



書道部 県美術展会場風景

会員消息 (県展・放美展・社中展は除く)

役員で出品した人・入賞者 (平成30年1月から12月) 順不同

○第49回正筆会 菁華書作展 (東京銀座画廊美術館 1/19～21)

常任総務理事 亀石文苑・竹田和代

総務理事 加村喜美子

○第59回太玄会書展 (東京都美術館 1/20～26)

理事・総務 中尾勝子

理事・実行委員 西谷香峰・南 溪石

理事 下村清子・馬居李帆・鈴木恵理・田上洋香・弘田長風

○第54回創玄展 (国立新美術館 3/8～18・東京都美術館 3/9～14)

一科審査員 荒井彭仙・玉城乾香・浜 佳香

二科審査員 永松春苑・多田清芳・岩本志豪・蓑毛翠琴・岡崎啓香

審査会員 吉田和婉・平岡幽琴・丸岡香貞・岸 緑香・朝三皐如・長原皐月
山口幽径・大西清葩・高瀬大峯・佐藤恵和・武田玲香・仁木志香
玉城乾舞

秀 逸 森本成玉・丸田恵風・長尾香蘭・藤本瑤香

○第80回謙慎書道会展 (東京都美術館 3/17～23) (池袋サンシャインシティ文化会館 3/16～22)

常任理事 米澤東籬

秀 逸 井上晏野・佐野恵水・立石充堂・仁木美馨・平田紀芳・石川翔芳

褒 状 近藤椿園

○第7回轟友会書展（セントラルミュージアム銀座 4/4～8）

会 員 米澤東籬

○第72回日本書芸院展（大阪市立美術館 4/10～15、6/26～7/1）（大阪国際会議場 4/11～15）

理 事 上田輝芳

参 与 薄田玲泉・能仁華瑤

評 議 員 亀石文苑・伊丹東龍・辻 紅雲・福家美鵬

一科審査会員 清水桂月・河野真流・宮守崇流・森 光翔・松永翠月・八木藍玉
赤川景舟・井上虹雨・川村春琴・福永美泉・倉本景雨・加村喜美子
浅川蘭舟・四宮千春・河野多美・林 美雪・石井祥洸・吉田翠彩
勝浦光漾・背川景玲・松本景芳・山本景琴

二科審査会員 佐野収華・佐川菁流・谷 玲琴・中西瑤汀・丸岡春暁・忠津玉燕
田中子葉・後藤佳美・皆谷芳穂・高橋芳琴・伊藤景風・節 爽韻
稲木裕美

史 邑 賞 川村春琴

大 賞 高橋芳琴・佐野収華・田村元帥・皆谷芳穂・西谷香峰・阿部博子

特 別 賞 上田美智・市原美希・住友春陽・井上小百合

準 特 別 賞 恵美春陽・杉本裕子

特 選 田中紫苑・板東亜美

一科会員推薦賞 谷本真由美・野口有香

二科会員推薦賞 島 祥瑤・森崎玉鈴

○第46回日本の書展（マイドームおおさか 5/3～5）

招 待 東 南光・能仁華瑤・清水桂月・伊丹東龍・薄田玲泉・河野真流
上田輝芳・宮守崇流・川村春琴・井上虹雨・辻 紅雲・河野多美
福永美泉

秀 拔 選 武市鳴雲・赤川景舟・倉本景雨・森 光翔・山本景琴・佐川菁流
井上景玄・背川景玲・松本景芳・福家美鵬・吉田翠彩・高橋芳琴
廣瀬蕙花・永松春苑・岩本志豪・吉田和婉・八木藍玉・田中子葉
皆谷芳穂

○第7回寄鶴文社書展（池袋サンシンシティ文化会館 5/31～6/3）

奨 励 賞 石川翔芳

○協会創立45周年記念 日本詩文書作家協会書展（セントラルミュージアム銀座 6/5～10）

評 議 員 荒井彭仙・玉城乾香

○第70回朝陽書道会展（岡山県天神山文化プラザ 6/22～24）

顧 問 薄田玲泉

総 務 理 事 井上虹雨

常 任 総 務 河野真流・上田輝芳・宮守崇流

常 任 理 事 赤川景舟・倉本景雨・佐川菁流・森 光翔・山本景琴・井上景玄
背川景玲・松本景芳・皆谷芳穂・廣瀬蕙花

○第 42 回由源全国書道展（大阪市立美術館 6/25 ～ 30）

常任無鑑査 川村春琴
常任委員 谷 玲琴・丸岡春暁・中村春岳
委員 土井和翔
第 1 位賞 川村春琴
全日本書道連盟賞 谷 玲琴

○第 32 玄心書道展（兵庫県原田の森ギャラリー 6/28 ～ 7/1）

副理事長 伊丹東龍
常任総務 辻 紅雲
総務理事 吉田翠彩・福家美鵬
参与 浅川蘭舟
常務理事 勝浦光漾・田中子葉・忠津玉燕・田村元帥
理事 小林青藤・吉岡春鵬

○第 56 回水穂書展（京都市勧業館 6/29 ～ 7/1）

総務 向井京子
理事 森崎玉鈴・伊藤景風

○第 70 回毎日展（国立新美術館 7/11 ～ 7/23）（愛媛県立美術館 8/8 ～ 12）

審査会員 荒井彭仙・玉城乾香
会員 永松春苑・浜 佳香・多田清芳・岩本志豪・吉田和婉・平岡幽琴
長原皋月・蓑毛翠琴・高瀬大峯
秀作賞 仁木志香・玉城乾舞
佳作 幸田清尚・佐藤恵和

○第 35 回読売書法展（国立新美術館 8/24 ～ 9/2）（サンメッセ香川 12/14 ～ 16）

参与 清水桂月
理事 能仁華瑤・薄田玲泉・河野真流・伊丹東龍・上田輝芳・亀石文苑
宮守崇流・辻 紅雲・林 美雪・川村春琴・米澤東籬・井上虹雨
河野多美・竹田和代・福永美泉
幹事 倉本景雨・佐川菁流・山本景琴・井上景玄・背川景玲・松永翠月
佐野収華・青木東原・福家美鵬・森 光翔・松本景芳・吉田翠彩
赤川景舟・皆谷芳穂・加村喜美子・勝浦光漾・廣瀬蕙花・岡部比登美
田中子葉・高橋芳琴・遠藤恵泉
評議員 内田麻紀・阿部博子・杉本裕子・浅川蘭舟・鈴木恵理・石井祥洸
忠津玉燕・馬居李帆・向井境子・井上小百合・八木藍玉・笹 爽韻
田村元帥
読売新聞社賞 吉田翠彩・森 光翔
読売俊英賞 福家美鵬
読売奨励賞 阿部博子
特選 平田紀芳

秀 逸 丸岡春暁・折野幸峰・竹内靖磐・竹中香風・山本波舟・畠山政子
折野佳子・古谷和代

○第 44 回創玄現代書展（セントラルミュージアム銀座 10/30～11/4）

入 選 野田満代

○改組新第 5 回日展（国立新美術館 11/2～11/25）

入 選 伊丹東龍・亀石文苑・田村元帥・森 光翔・向井京子・米澤東籬
井上虹雨・川村春琴・勝浦光漾・辻 紅雲・戸出芳泉・石川翔芳
倉本景雨・背川景玲

○第 40 回日本書道学院展（東京都美術館 11/10～11/16）

常 任 理 事 薄田玲泉・河野真流
理 事 赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・上田輝芳・倉本景雨・佐川菁流
住友春陽・背川景玲・高橋芳琴・一ツ松真弓・廣瀬蕙花・宮守崇流
森 光翔・山本景琴・松本景芳

○第 58 回環社展（大阪市立美術館 12/4～12/9）

顧 問 清水桂月
参 事 能仁華瑤
参 与 武市鳴雲・豊浦春光・花本清香・馬居李帆
常 任 理 事 八木藍玉・松永翠月・横田典子・林 美雪・河野多美・鈴木恵理
弘田長風・佐野収華・石井祥洸
理 事 田上洋香・野口有香・大本華越・岡部比登美・恵美春陽・高柳早秀
片山芳明・谷本真由美・河野美鶴・伊藤景風
幹 事 上田美智・井上加芳・稲井華風・磯川味佳・伊達静蘭・中西瑤汀
北村清翠・島 祥瑤・節 爽韻・園尾恵風
入 選 一宮堆川・高橋信華
読売新聞社賞 井野恵風
特 別 賞 柏尾美峰
優 秀 賞 田中紫苑・瀬山花郷
特 選 多田彩峰

○第 70 回正筆展（兵庫県原田の森ギャラリー 12/7～9）

常任総務理事 竹田和代
常 任 理 事 内田麻紀・粧真理子・高木美賀子・脇坂 優・笠原三雨・菖蒲和風
齋藤弥生・和泉和舟・阿部博子・井上小百合・折野佳子・杉本裕子
寺尾俊通・向井境子
理 事 古谷和代・関根史子・中筋良江
正 筆 賞 田岡佐記子
梅 花 賞 中川年代・森 眞美
奨 励 賞 三好育子・篠賀知代

○第 18 回扶桑印社展（セントラルミュージアム銀座 12/11 ～ 16）

準 同 人 蓑毛翠琴

◎社中展・個展等

○第42回東玄書道会展	アミコシビックセンター	1月19日 ～ 21日
○第32回正鋒会書展	あわぎんホール	3月 9日 ～ 11日
○第38回書研社展	アミコシビックセンター	3月 9日 ～ 11日
○第15回五果会書道展	県立文学書道館	3月16日 ～ 18日
○第51回清潮書作展	あわぎんホール	3月16日 ～ 18日
○第12回光照会書展	文化の森二十一世紀館	3月23日 ～ 25日
○第2回徳島玄心会書展	県立文学書道館	3月30日 ～ 4月 1日
○第1回正鋒会石井展	石井公民館分館	3月30日 ～ 4月 2日
○第31回長玄書道会展	阿波銀プラザ	4月 6日 ～ 8日
○第46回光輪社書作展	あわぎんホール	4月13日 ～ 15日
○第12回幽の会書展	アミコシビックセンター	5月18日 ～ 20日
○第63回成蹊書道会展	アミコシビックセンター	5月25日 ～ 27日
○第48回直心会書展	あわぎんホール	5月25日 ～ 27日
○第25回記念耿の会書作展	県立文学書道館	6月15日 ～ 17日
○第83回書芸院展	あわぎんホール	8月30日 ～ 9月 2日
○第7回青藍会書作展	あわぎんホール	8月31日 ～ 9月 2日
○第63回書協人展	あわぎんホール	9月 7日 ～ 9日
○荒井天鶴一孤高の書とその美学	県立文学書道館	10月 5日 ～11月18日
○第17回一心会書展	阿波銀プラザ	10月26日 ～ 28日
○第14回向井京子三世代書展	うだつの町並み通り時代屋ギャラリー	11月 1日 ～ 18日
○第22回せゝらぎ書展	県立文学書道館	11月23日 ～ 25日
○第40回泉心会書作展	県立文学書道館	11月23日 ～ 25日
○第48回芳藍書道展	四国大学交流プラザ	11月23日 ～ 25日
○第3回由源書心会展	県立文学書道館	11月30日 ～12月 2日
○第7回虹光会書展	アミコシビックセンター	12月 1日 ～ 2日
○平成30年度高校教員書道展	県立文学書道館	12月 7日 ～ 9日
○第23回尚真書展	あわぎんホール	12月14日 ～ 16日
○第39回臨池書展	アミコシビックセンター	12月15日 ～ 16日
○第24回六書会書展	ヨンデンプラザ徳島	12月22日 ～ 24日

※各社中からの報告を受けて掲載しています。

個人（県内社中に無所属）の方で報告がある場合は掲載内容を 12 月末に部会長まで御寄稿下さい

（書道部）

デザイン部

部会長 田 中 一 郎

年間展望

◎第26回放美展（5月2日（水）～6日（日） あわぎんホール）

14の高校から72名で81点、1大学から8名で9点、そして、一般の方11名から13点、合計91名から103点の出品があった。昨年より19点の減となった。

審査には、美協デザイン部会員の坂野美恵子、吉本實の2名があたった。

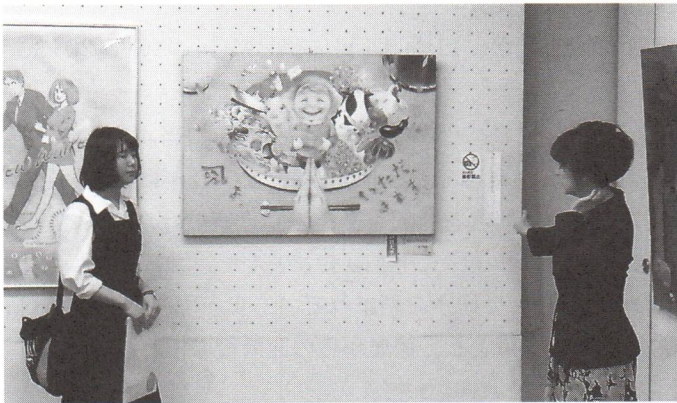
放美賞の西尾歩未「文明のバランシング」は、機械的な文明と相対する自然を象徴する二人の少女を対峙させ異なる二つの文明をバランスよく融合させるこ

とが重要という世界観が伝わる点が評価された。優秀賞の栗飯原稜「機械と植物とピエロと」は機械と植物を散りばめながらピエロの顔に作り上げる技術力が秀逸。部会員の山野井宏宗「break or destroy」は、人類が繰り返す普遍的なテーマ（性）ともいべき分裂と破壊を象徴的に表現したデジタル作品。鍋島美都妃「カサイラズダケ」は、ほのぼのとした世界観とそれを表現する画力が評価された。田中見那美「Sunshine」は底抜けに明るく楽しいイラストが持ち味。四国大学賞の青木菜那「命をいただきます」は私たちの命をつなぐものとしての食べ物の命に今一度感謝をしようという真面目なテーマが新鮮。

これらの他に入選59点、無鑑査の部会員、田村あいと審査員の作品2点を合わせて計68点が展示された。



放美展 デザイン部審査風景



放美展 デザイン部ギャラリートーク

—昨年から会期中に行われているギャラリートークだが、今年もデザイン部門では5月5日（金）の表彰式の後、審査員を代表して坂野美恵子が担当して行われた。デザイン部門の展示コーナーにおいて、主に入賞作品を前に作者や参加者とのディスカッションが行われ、約20名の出品者、観覧者の参加を得て、盛会裏に終了した。

◎第73回徳島県美術展（第2期 10月12日（金）～17日（水）あわぎんホール）

台風の接近により当初予定していた9月30日（日）の審査が10月8日（月・祝）に延期となり、審査会場も徳島新聞社の1階会議室をお借りしての実施となった。



県美術展 デザイン部審査風景

審査員のJAGDA中・四国ブロック運営委員で（有）コンセプトワーク代表取締役の川上佳代氏にはやきもきさせてしまう日程となったが、快くお引き受け下さり広島から遠路お出でいただいた。9：30より12：00まで出品を受け付け、出品人数46人、出品点数66点。昨年より出品点数が10点近く増えたことは非常に嬉しい限りである。同日13：00よりの審査には、例年通り、たくさんの出品者の方々が審査を見守った。

特選（徳島市長賞）に選ばれた栗飯原稜「逃げ出した昼ごはん」は、高校生らしい若い発想と弁当のそれぞれのおかずを生き生きとしたキャラクターに仕上げ動きのある画面を作り出している点が評価された。特選の佐藤あすか「出発点」は、シンプルな表現ながら、しがらみを自ら断ち切って人生をスタートしようというメッセージが明確に表現できている点が評価された。準特選の田中公代「モザイク・ハートにゃん」は、その作品を見る人すべてがつい近くによって眺めてしまうという魔法を無数の猫を描くことによって実現している。田中見那美「LOVE & PEACE」は、屈託のない明るいキャラクター表現で見る人を楽しくさせる。信田幸一「夜桜」は、コラージュの手法で新しい独特のサクラの表現が成功している。この他に奨励賞が3点選ばれ、部会員の山野井宏宗が入選に選ばれた。

入賞8点、入選32点に加え、特別出品の福井 章、田中一郎、招待の斎藤繁次、坂野美恵子、敷島のり子、斎藤 剛、四十宮隆志、無鑑査の沢口 功、斎藤志津子の9点を併せて計49点が展示された。

◎四十宮隆志氏が2018年度阿波文化創造賞を受賞

デザイン部委員で県展事務局員の四十宮隆志氏が、11月14日に徳島県庁において2018年度阿波文化創造賞を受賞されました。

四十宮氏は（株）四国放送で番組タイトルやコマーシャルのデザインを担当する傍ら、休日や帰宅後の時間を使ってポスターの制作に取り組んでこられました。2008年には40歳の、そして2018年には50歳の節目としてそれぞれ個展を開催し、その制作意欲は衰えることを知りません。『最小限の表現で最大の発信力』をモットーに「極限まで伝えたいことを削り、シェイプアップしたものこそ最高のデザイン」を目指して研鑽を積まれています。現在はJAGDA（日本グラフィックデザイナー協会）徳島地区代表幹事として徳島からの発信役も担われています。

会員消息（県美術展・放美展は除く）

■斎藤繁次

11月 藍美展出品（藍住町役場4階 展示コーナー）

■斎藤志津子

11月 藍美展出品（藍住町役場4階 展示コーナー）

■坂野美恵子

7月 第103回 二科展デザイン部門 審査員（会員出品）（東京 国立新美術館）

11月 「にし阿波の傾斜地農耕システム」 シンボルマーク 審査員
（つるぎ町農業構造改善センター）

12月 第47回歳末チャリティー作品・色紙即売展〔徳島新聞社会文化事業団〕（そごう徳島）

■沢口 功

2月 第46回徳島市芸術祭美術展デザイン部門審査員出品
（徳島市シビックセンターギャラリー）〔徳島市文化協会・（公財）徳島市文化振興公社〕

11月 第11回沢口功ポスター展2018（那賀川町 CoffeeWorks KONOBU）

12月 第47回歳末チャリティー作品・色紙即売展〔徳島新聞社会文化事業団〕（そごう徳島）

■敷島のり子

3月 「JAGDAつながりの展覧会 Part 1マスキングテープ」*制作参加
東京ミッドタウン・デザインハブをはじめ全国巡回展参加出品

4月 第21回はなはるフェスタ in 野外ポスター展企画運営・出品
〔ポスターギャラリー実行委員会〕（しんまちボードウォーク）

7月 世代美術展出品

8月 徳島県文学書道館グッズのトータルデザイン

8月 第12回世界ポスタートリエナーレトヤマ2018 B2部門入選

11月 「JAGDAつながりの展覧会 Part 2タンブラー」制作参加

12月 徳島県防犯連合会「こども110番」掲示板デザイン

12月 第47回歳末チャリティー作品・色紙即売展
〔徳島新聞社会文化事業団〕（そごう徳島）

■田中一郎

3月 第26回城東高校定期演奏会 ポスター、チラシ、チケット、プログラム表紙、看板
のデザイン制作

4月 はなはるフェスタ「野外ポスター展」出品
〔ポスターギャラリー実行委員会〕（しんまちボードウォーク）

■西林良枝

2月 第46回徳島市芸術祭美術展デザイン部門審査員出品
〔徳島市文化協会・（公財）徳島市文化振興公社〕（徳島市シビックセンターギャラリー）

■福井 章

「徳島賛画」をテーマに、ふるさと徳島を描く作業を続けています。

- 5月 「徳島賛画」福井章イラストレーション展（海部郡美波町 ギャラリー花筏）
- 7月 徳島調停協会連合会会報にイラストレーション「徳島の札所」連載
- 12月 福井章イラスト展「阿波徳島 23 札所を巡って」（徳島市 ギャラリー喫茶 GRACE）
- 12月 第 47 回歳末チャリティー作品・色紙即売展
[徳島新聞社会文化事業団]（そごう徳島）

■三木由佳里

- 2月 第 46 回徳島市芸術祭美術展デザイン部門招待出品
[徳島市文化協会・(公財) 徳島市文化振興公社]（徳島市シビックセンターギャラリー）

■山野井宏宗

- 4月 はなはるフェスタ「野外ポスター展」出品
[ポスターギャラリー実行委員会]（しんまちボードウォーク）
- 8月 （グループ展）イメージ・フォト・クラブ「どきん 7」
- 9月 第 103 回二科展デザイン部門 入選（東京 国立新美術館）

■吉本 實

- 2月 第 46 回徳島市芸術祭美術展デザイン部門審査員出品
[徳島市文化協会・(公財) 徳島市文化振興公社]（徳島市シビックセンターギャラリー）
- 5月 徳島県花基金事業「とくしま花のある風景フォトコンテスト」
企画周知アートディレクションデザイン制作 [（一財）徳島県観光協会]
- 10月 第 73 回徳島県美術展周知用ポスター・チケット・図録等デザイン制作
[徳島県美術家協会・徳島新聞社]

■四十宮隆志

- 1月 「土 50 四十宮隆志展」開催 [徳島県立近代美術館ギャラリー]
- 4月 「徳島県文化創造審議会」委員就任
- 4月 4th Block 国際 ECO ポスタートリエンナーレ 2018」ポスター 4 点入選
（ウクライナ ハリコフ市）
- 6月 「JAGDA 日本グラフィックデザイナー協会 通常総会 in 新潟」地区ブロック代表者会議
授賞式、交流パーティー参加
（新潟県・新潟日報メディアシップ & 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター）
- 8月 「国際アニメーションフェスティバル広島大会」視察・懇親会参加
（広島市・アステールプラザ）
- 8月 「第 1 回 徳島県文化創造審議会」出席（徳島グランヴィリオホテル）
- 9月 「世界ポスタートリエンナーレトヤマ」視察（富山県美術館）
- 10月 「第 2 回 徳島県文化創造審議会」出席（徳島県庁 10 階大会議室）
- 11月 「平成 30 年度阿波文化創造賞」受賞
受賞記念展（11 月 10 日～14 日 あわぎんホール 2 階特別展示室）
授賞式（11 月 14 日 徳島県庁 3 階第二応接室）
- 12月 「JAGDA 中四国地区代表者会議」出席（愛媛県・ホテルメルパルク松山）
- 12月 「創る彩る 四十宮年代展」サポート（作品集制作、看板・広告ツールデザイン、着物
展示レイアウト）

徳島県美術家協会規約

昭和 23. 9. 12	規約制定	昭和 61. 6. 21	規約一部改正
32. 7. 14	新規約制定	平成 4. 6. 27	"
33. 4. 29	規約一部改正	6. 6. 25	"
42. 4. 23	"	10. 6. 27	"
46. 4. 29	"	24. 6. 9	"
47. 5. 29	"	25. 6. 1	"
49. 8. 22	"	26. 6. 1	"
52. 7. 23	"	28. 6. 4	"
56. 5. 5	"	30. 5. 26	"
58. 6. 5	"		

第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称する。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に關係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

会 長 副会長(2名) 事務局長
理 事(若干名) 監 事(2名)

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員の任期は2年として留任をさまたげない。ただし、会長、副会長、理事においての選出は、80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)

会長・副会長の総会での選出方法は、各部で代議員の中から2名の選考委員を選び、予め候補を選考した後、総会で選出する。

第6条 本会は顧問および特別会員を次の規定によりおくことができる。

- ①会長または副会長を10年以上務めた後、理事会で認められた者を顧問とする。
②理事または部会長を10年以上務めた者、若しくは各部会からの推せんにより理事会で認められた者を特別会員とする。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。事務局員はこの会の事務業務を統括する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員の選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。ただし、最終端数の人員が算出された場合は、繰り上げるものとし1名を追加する。

第9条 理事会及び部会長会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を

執行する。事務局長は必要に応じ事務局員を招集し、事務分担を行う。

第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

部会長・委員(部会員数の3割以内とするが、部の事情によってはこの限りではない)

部監事(2名)

事務局員(2名)

役員は部総会で選出する。役員の任期は2年とし留任をさまたげない。ただし、部会長においての選出は80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員の選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

内 規

1 (監事)

監事は、基本的に規約第3条の順に従って、2部会が役員の任期期間をつとめる。

2 (総会の議長)

総会の議長は、規約第3条の順に毎回持ち回りでつとめる。

(参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会パッチを選定(図案は鬼塚副会長)

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~5名)によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうえに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。

☆平成23年6月1日 事務局を事務局長の住所に置く。

後援承認事務取扱規定

(趣 旨)

第1条 この規定は、徳島県美術家協会（以下「協会」という。）以外の団体が自主的、自発的活動として行う教育、文化及び美術等の各種行事に対して、協会が後援又は共催若しくは推奨（以下「後援等」という。）をする場合の承認事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規定においての後援とは、協会以外の団体が計画した行事に、協会が当該行事の奨励及び助長をすることをいう。

(基本的な留意事項)

第3条 協会が美術展等を承認する場合は、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 「後援等を承認する」ということは「協会の名義使用を認める」ということであり、それだけに他に及ぼす影響等を十分考慮し、過誤のないようにすること。
- (2) 安易に後援等を承認すると、一般市民の誤解を招き協会の信用をそこなうこととなるので、慎重に取り扱うこと。

(行事の主催者)

第4条 協会が後援等を承認する場合の主催者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 教育、文化など協会の7部門に関係した機関及び団体。
- (2) 国又は地方公共団体及びそれらの機関。
- (3) 教育、文化機関及び美術研究団体。
- (4) 公益法人（宗教法人を除く。）及びこれに準ずる公共的団体。
- (5) その他、協会が特に認めたもの。

(承認の基準)

第5条 協会が後援等を承認する場合の行事内容は、「教育、文化及び美術等の普及向上に寄与するもので、公益性のあるもの。」でなければならない。ただし、次の各号の一に該当するものは後援等の承認をしないものとする。

- (1) 政治的、宗教的中立性を侵すおそれのあるもの。
- (2) 特定の流派等で、協会の後援に適さないもの。
- (3) 営利又は売名（個人、団体を問わない。）の意図をもって企画されているもの。
- (4) 行事の企画、運営等が適切でないと認められるもの。

- (5) その他、協会が後援等をすることを不適当と認めるもの。

(後援等の申請)

第6条 行事の主催者は、協会に後援等の承認を得ようとするときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書（様式第1号）を原則として30日前までに提出しなければならない。

- 2 前項の申請書には、行事計画及び行事内容の記載を必要とする。また、その内容によっては、協会が必要書類の提出を求めることがある。

(承認決定の通知)

第7条 協会は、後援等を承認決定したときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認通知書（様式第2号）により申請者（主催者）に通知するものとする。

(後援等の取消し)

第8条 協会は、後援等を承認決定した後において、当該行事が次の各号の一に該当したときは、後援等を取り消すものとする。

- (1) この規定の第5条の規定に接触することとなったとき。
- (2) 後援等申請書が虚偽の申請であったとき。
- (3) 承認決定の条件に違反し、協会の指示に従わなかったとき。

附 則

- 1 この規定は、平成24年6月9日から施行する。

徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書

年 月 日

徳島県美術家協会会長 様

申請者（主催者）

住 所 _____

団 体 名 _____

代表者名 _____ 印

電話番号 _____

次の行事について徳島県美術家協会の後援名義使用承諾を得たいので関係書類を添えて申請します。

新規 ・ 継続 （該当に○印をつけてください）

行 事 名	
開催日時（期間）	年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ）
開 催 場 所 名	
開催場所所在地	
共 催 団 体 名	
他の後援団体名	
入 場 料	有（詳細を記入： ） ・ 無
後援承認通知書 送付先住所氏名	〒 _____ 氏名
行 事 概 要 （行事計画及び行事内容などを記載してください）	

注 1） 共催団体名、他の後援団体名は予定のものも含めて記載してください

様式第 1 号

あ　と　が　き

会員の皆様をはじめ、関係者皆様のご尽力ご協力のお陰で、春の第 26 回放美展、秋の第 73 回徳島県美術展も盛会に無事終わりました。心より感謝申し上げます。

今年度の美術年報の装丁は写真部の上野照文さんをお願いし、素晴らしいものになりました。

2 年前より、徳島県美術家協会のホームページが開設されています。会員の皆様の利便性も向上し、広く発信されていることと思います。多くのアクセスをお待ちしています。お気づきの点があれば事務局までご連絡ください。ホームページのアドレスは次のとおりです。

<https://toku-bikyo.info/>

この 2 年間、彫刻部が事務局を担当させていただきました。新年度からは、美術工芸部に引き継ぎいたします。この間、大変お世話になりました。ありがとうございます。

最後になりましたが、今後も皆様の創作活動が人々に感動を与え、徳島県全体の美術界のますますの発展につながりますことを心より祈念いたします。

徳島県美術家協会

事務局長 松永 勉

美術年報 2019

平成31年3月30日 印刷

平成31年3月31日 発行

編集者 松 永 勉

装幀者 上 野 照 文

発行人 河 崎 良 行

印 刷 星印刷株式会社

発行所 徳島県美術家協会

徳島市上助任町三本松 366-13 松永方

